



2015, 2016 年度
年次報告

ANNUAL REPORT
OF
AQUARIUM "UMITAMAGO"
in 2015, 2016

2015, 2016 年度
年 次 報 告

大分マリーナパレス水族館
「うみたまご」



◀ 2015 年春、あそびーち open !



▶ 2016 年 4 月 16 日、「熊本地震（本震）」が発生。埋設配管の一部が破損した。

●所在地：〒870-0802
大分県大分市大字神崎字ウト3078番地22



●TEL/FAX：097-534-1010/097-534-1013

●WEB SITE：http://www.umitamago.jp/

●開館年月日：2004年（平成16年）4月1日

●従業員数：約60名

●入館料：

	大人	小人	幼児
一般料金	2200 円	1100 円	700 円
団体（20 名以上）	2000 円	1000 円	650 円
年間パスポート	4800 円	2400 円	1600 円

●開館時間：AM9:00～PM6:00（3月～10月）
AM9:00～PM5:00（11月～2月）
（特別期間はAM9:00～PM9:00）

●休館日：1月下旬、2～3日間

●施設：鉄筋コンクリート地下1階、地上3階建て
敷地面積 7582.24㎡
延床面積 10881.09㎡

●飼育動物数：約500種15000点



うみたま体験パーク

つくみイルカ島

- ▶ つくみイルカ島を研究拠点に。
繁殖研究のため、新江ノ島水族館から
バンドウイルカの「アテネ」を搬入。



- ◀ 大分県農林水産研究指導センター協力
のもと、定期的な鯨類目視調査を開始。

●所在地：〒879-2683
大分県津久見市大字四浦2218番地10



●TEL/FAX：0972-85-3020/0972-85-3010
●WEB SITE：http://www.tsukumi-irukajima.jp/
●開園年月日：2011年（平成23年）4月2日
●従業員数：約15名

●入館料：

	大人	小人	幼児
一般料金	870 円	540 円	430 円
団体（20名以上）	790 円	490 円	390 円

●開園時間：AM10:00~PM4:00（季節により延長あり）
●休園日：1月中旬から2月中旬の1ヵ月間
●施設：陸上部「シーサイド」面積 8200㎡
管理棟 木造2階建て
敷地面積 801.18㎡
延床面積 296.03㎡
海上部「シーエリア」面積 12500㎡
●飼育動物数：約40種6500点

主な出来事

2015年度(平成27年度)

- 04月18日 新施設「あそびーち」オープン。多くの家族連れや子供たちが動物たちとふれあう。
- 04月25日 佐伯市の丸晶水産様より黄色変異のヒラメを譲受、「黄金ヒラメ」として展示。
- 05月28日 JF おおいた大分支店より黄色変異のダルマオコゼを譲受、「黄金ダルマオコゼ」として展示。
- 06月25日 杵築市で発見されたアルビノのオタマジャクシの個体群を譲受。研究対象として広島大学へ寄贈。
- 07月01日 国東市来浦漁港にて捕獲されたハナタツが寄贈される。県内初記録。
- 07月02日 「つくみイルカ島」にトカラヤギ2頭が仲間入り。鹿児島・平川動物公園から譲受。
- 07月20日 大分放送にて50周年記念番組制作「うみたまのキセキ〜マリンパレス50年の歩み」が放映される。
- 07月25日 レクチャールームにて「とばせるクリエイティブうみのせかい」を実施。最新デジタル技術を用いた新しい展示の形を垣間見ることができた。
- 08月03日 大分県農林水産研究指導センターより青いガザミを譲受。後に「幸せの青いカニ♥」として話題に。「つくみイルカ島」に福岡市動物園よりオスのコツメカワウソ「のこすけ」を譲受。当館飼育個体「コマリ」と施設内カワウソ生簀にて同居開始。キバタンも新たに仲間入り。
- 09月25日 「うみたまご」にミナミアメリカオットセイ、オスの「ドム」、メスの「レイ」「セイラ」が仲間入り。館内のお散歩で一躍人気者に。
- 09月30日 オスのアゴヒゲアザラシ「ブル」のもとに、メスの「ベリー」がお嫁入。「あそびーち」にフレミッシュジャイアントとケヅメリクガメが仲間入り。
- 10月17日 「うみたまご」総入館者数1000万人達成。
- 10月31日 株式会社マリンパレス50周年記念誌「海に魅せられた50年」刊行。
- 11月06日 「不老不死のクラゲ」とよばれる「ニホンベニクラゲ」を実験ホールにて展示開始。
- 11月13日 繁殖用に「つくみイルカ島」へ、新江の島水族館所有のオスのバンドウイルカ「アテネ」を搬入。今後の既存個体との繁殖に期待。
- 11月30日 「あそびーち」にムツオビアルマジロが仲間入り。
- 12月23日 「うみたまご」館内にサンタクロースが出現。600名の子供たちにお菓子のプレゼントを配布。
- 01月31日 株式会社マリンパレス50周年特設サイトオープン。
- 02月06日 「うみたまご」にて「あそびーち雪まつり」開催。「あそびーち」に本物の雪の滑り台が設置され、アザラシたちも大喜び。
- 02月17日 「つくみイルカ島」にて、イルカを用いた共同研究に向け官民学による研究協議会が開催。

2016年度(平成28年度)

- 04月15日 前日の「熊本地震(前震)」の災害復旧応援のため、熊本市動植物園へ500Lタンク等を提供。
- 04月16日 未明に「熊本地震(本震)」が発生。大分市内でも震度6弱の揺れを観測した。ペンギン一羽(カオル)がショックにより斃死したほか、館内の開放型水槽が漏水、施設内一部埋設配管に破損を確認した。
- 06月09日 大分空港沖合にて捕獲されたノコギリザメを譲受。県内初記録。
- 06月13日 大分県農林水産研究指導センター協力のもと、調査船「豊洋」にて初の沿岸鯨類目視調査を実施。
- 07月06日 「つくみイルカ島」のバンドウイルカ「サキ」の妊娠を確認。昨年借受けた「アテネ」との子と断定。
- 07月21日 「あそびーち」にてアザラシの給餌体験イベント「アザラシのフライングゲット!」を実施。
- 08月01日 津久見市の「南阿蘇っ子応援プロジェクト」の一環で、「つくみイルカ島」に熊本地震で被災した南阿蘇村の小学生を1泊2日で招待。
- 10月01日 土日祝日限定でコツメカワウソふれあいイベント、「カワウソうっそー」を実施。
- 12月23日 マーメイドホールにクリスマスツリーが出現。ベンガルワシミズクの「ピカチュウ」がツリーを点灯。来館者に抽選で、生きものたちとのふれあい体験をプレゼントした。
- 01月09日 宮崎県延岡市北浦町の定置網にてバンドウイルカ1頭混獲のため保護。
- 01月13日 津久見市と共同で「第1回つくみイルカ研究シンポジウム」開催。
- 02月01日 宮崎県延岡市浦城町の定置網にてハナゴンドウ1頭混獲のため保護。
- 02月25日 「つくみイルカ島」のトカラヤギ「ナナ」が出産。「シオ」との子。
- 03月18日 アゴヒゲアザラシのパフォーマンス「ブルくんとベリーちゃんの『ゆる〜い感じ』」スタート。新たに設置された大画面モニターで、来館者にアザラシたちの愛嬌ある表情をお届け。
- 03月23日 大回遊水槽にて、マルアジ約2500尾の群泳を展示。連なるアジの群れが来館者を楽しませる。

今年、入社しました



衛藤 碧海
(えとう あおみ)

出身: 埼玉県

所属: 飼育部 獣類グループ

私は海や山といった自然あふれる環境とは全く無縁の埼玉県で生まれ育ちました。また、父の趣味がサーフィンということもあり、毎週日曜日には千葉県の九十九里へ出かけるのが私たち家族の日課でした。そのため、地元にはない自然の空間に興味を持つようになり、やがて自身の名前の由来にもなる「海」を好きになりました。

私は「碧海のように清らかな心の子に」という願いから「碧海」と名付けられました。「海」をきっかけに水中スポーツに夢中になり、これまでに競泳や水球に挑戦し、いくつもの大会で活躍する選手に成長できました。また、私はもう一つの特技としてピアノを弾くことができます。持ち前のチャレンジ精神で学生の頃は合唱コンクールで伴奏を担当し、一度優秀伴奏者賞を受賞した経験もあります。

両親との思い出をはじめ、「海」というきっかけを大切に、何事にも挑戦する日々を送っています。そして、挑戦する心を大切に、この仕事も一生懸命に頑張っていきたいと思っています。



三又一恵
(みまた かずえ)

獣医師

出身: 大分県

所属: 飼育部

この度平成 29 年度入社いたしました飼育部獣医師の三又一恵です。北里大学獣医学部獣医学科卒業の 25 歳です。出身は大分県ですが、大学時代は大分県から遠く離れた青森県で生活をしておりました。

元々の獣医師を志したきっかけが野生動物に携わりたいという気持ちでした。そんな中で一年前の春にことうみたまごで実習をさせていただき、ここにいる動物と人たちに惹かれて志望させていただきました。さらに大分が地元でもあるので、たくさんの思い出のあるうみたまごに勤めることができとても嬉しく思っています。

趣味はテニス・ビリヤード・ボルダリングですが体を動かすことなら基本全部大好きです。最近休みの日はおいしいものを食べに行ったり、温泉に出かけたりすることが多いです。

最後に獣医師としてここにいる動物たちの健康の維持、増進に貢献できるように一生懸命頑張っていきますので、至らない点はたくさんあると思いますがご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



西川 真帆
(にしかわ まほ)

出身: 長崎県

所属: 飼育部 獣類グループ

皆さん初めまして。平成 29 年度入社いたしました、西川真帆です。所属は飼育部獣類グループの鰐脚チームです。出身は長崎県佐世保市で福岡 ECO 動物海洋専門学校卒業です。

私の最近の楽しみは、車を運転して出かけることです。休日は家にいることは少なく、基本的に買い物や美味しいご飯のお店を探すために出かけています。まだ、4 月に大分に来たばかりで土地勘がなく行動範囲が狭いので、今後はもっと遠くに出かけ、家族や友人が来た際にお勧めできる場所を見つけておきたいと思っています。もし、大分でお勧めの場所、お店がありましたらぜひ教えて下さい。

今後色々なことを学び不安も出てくると思いますが、明るく元気をモットーに、多くの上司の方の技術を盗み吸収し、数年後には「動物もお客様も楽しませる」ということができるよう、これからも日々の仕事を一生懸命頑張ります。

何かとご迷惑をお掛けするかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いします



薬師寺 麻衣
(やくしじ まい)

出身: 東京都

所属: 営業部 営業グループ ガイド

はじめまして、営業グループ・ガイドへ配属となりました薬師寺麻衣です。2013 年 12 月からアルバイトとしてうみたまごで働いていましたが、本年度契約社員に登用していただく運びとなりました。

東京都江戸川区出身で、数年前までずっと東京で暮らしていました。大分出身である主人の仕事の都合により大分県へと引っ越してきた次第です。東京では矯正歯科医院の受付をしておりましたが、新天地で新しいことを始めてみよう、今まで無縁だった水族館での勤務に挑戦しました。魚の名前が一切わからず、海獣の区別もつかない状態からスタートしたため、苦勞することも多々ありますが、周りのスタッフに助けられ、日々奮闘しております。

趣味はボルダリングという 4m 程の人口壁を登るクライミングです。運動不足解消を目的に始めたため、ひどい筋肉痛に悩まされることも多いですが、上まで辿り着けた時の達成感や爽快感はやみつきになります。お客様も自分も楽しめる接客をモットーに頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

この一年を振り返って



大隅 壮一郎
(おおすみ そういちろう)

出身：広島県

所属：津久見事業場 飼育部門

私は入社して飼育の仕事をしていく中で感じたことは「責任」、「達成感」と「感謝」です。

この業界を目指し始めたころから私は多くの人に夢や笑顔を届けていけるようなトレーナーになろうと、そして入社してからも日々がむしゃらに取り組んできました。しかし仕事をしていく中でミスが増え、早さを優先するあまり作業が雑になってしまいがちでした。その時私は日々の仕事の中で何が動物にとって良いのかを考え、現場のスタッフとして働く以上、責任を持って取り組むようにと指導していただきました。おかげで目の前のことでいっぱいにならずに落ち着いて視野を広げ、動物に対してもお客様に対しても責任を持った仕事ができるようにと意識が変わりました。

私はこの一年間さまざまなことに挑戦しました。イルカパフォーマンスのMCから動物の給餌まで熱心に指導していただきました。挑戦していく中でやはりパフォーマンスでの喋り、ショー中に何かイレギュラーなことが起きたときの対応や、動物に餌をあげることに一つにしても上手くできないことが多々あります。しかし、いろい

ろ悩んだり、改善して取り組んだ結果、お客様に良かったと評価していただけたり、自分自身うまくやれたと感じる瞬間が何度かありました。私はこの一年間大きな壁を越えた後の達成感を知ることができました。

この一年間に感じたことは仕事以外にもあります。それはこれまで振り返って仕事をしていく上での責任感や、やりがいとも言える達成感等を感じることでできる環境を作ってくれた自分の両親への「感謝」です。今までももちろん何度かこのような場面はありましたが、社会人になり自分でお金を稼ぎ生活するようになってから働くことの難しさを知ったのと同時に、今まで両親は22年間頑張って自分を育ててくれたということ、働くことを通じて身に染みて感じました。

私はこの一年間で学んだことをこれからもしっかりと心におきながら2年目、3年目と飛躍していけるように頑張ります。



菊地 沙月
(きくち さつき)

出身：静岡県

所属：飼育部 獣類グループ

何事もポジティブに考えること。笑顔でいること。これは工作中だけでなく、日常生活でも私が大切にしていることです。

社会人になって1年、自分の夢である仕事に就いて1年が経ちました。言葉の通じない動物相手の仕事、正解もゴールもない仕事だから壁にぶつかることもたくさんありました。これから先もそれはずっとあることだと思います。私が怒られてへこんでいても、動物たちは楽しいご飯の時間を待っています。楽しませてあげられるのは給餌に入る自分しかいない。そう考えると、すぐ切り替えて新たな気持ちで取り組もうと思うようになりました。もともと、家族からは「楽観的な性格だね。」と言われることが多かったのですが、私が物事をポジティブに考えられるようになったのは、一人のアーティストに出会ったからです。宮城県出身のハジ→という方の歌から、たくさんの素敵な言葉をもらいました。当たり前の日常が当たり前じゃない、周りに感謝する気持ちの大切さ、物事の捉え方を改めて見つめ直すことができたと思います。

今、私には次の夢、次の目標があります。それは、お客様から「あなたのショーを見に来た。またショーを見に来たい。」と声をかけてもらうことです。そのために必要なこと、自分に足りない物は何か、もっと追求して頑張りたいと思います。

私の夢を応援して支えてくれる両親、日々熱心にご指導してくださる先輩方、たくさんの人に支えられているから今の自分が成り立ちます。自分のやりたいことを仕事としていることがどれだけ幸せで、どれだけ特別なことかを実感します。だからこそ、一日、一瞬を悔いの無いように過ごしていきたいです。そして、夢と目標を持ち続けて、ポジティブに考えること、笑顔を絶やさないことを心掛け成長していきたいです。



熊谷 亮太郎
(くまがえ りょうたろう)

出身：福岡県

所属：飼育部 獣類グループ

うみたまごに入社し一年がたち、気付いたことがいくつかあります。まず一つ目は「努力は必ず報われる」ということです。これを実感したのはイルカショーのMCです。

私は今まで努力もせず自分にはできないと諦めることばかりでした。しかし、入社してイルカショーのMCをするにあたり、さまざまな壁にぶつかりながらも諦めずに努力してきました。初めはお客様にも伝えたいことが伝わらず先輩にも指導されることが多かったのですが、それにも負けず練習に練習を重ね努力し続けました。その結果、今ではお客様にも伝えたいことが伝わり、「良かった。感動した。」などという言葉もいただけるようになりました。ですが、現状に満足せずにこれからも更なる高みをめざし努力し続けたいと思います。

また、努力する中でも気付いたことがあります。それは「楽しむこと」です。MCに限らずトレーニングや日頃の作業も楽しむことが大切だと気付きました。ただ努力するだけでは壁にぶつかったときすぐ挫折してしまいがちですが、楽しみながら努力するとぶつかる壁も楽しく乗

り越えることができます。特に動物の前では楽しむことが大切です。こちらが楽しまなければ動物も楽しくありませんし、見て下さるお客様も楽しんではくれません。悩んだとき、壁にぶつかったとき、トレーニングがうまくいかなかったときこそ笑顔で楽しんで乗り越えることが大切だと気付きました。

私は、飼育員、トレーナー、そして社会人としてもまだまだ未熟ですが、この一年で気付き実感したことを糧に、また日頃熱く丁寧に指導してくださっている先輩方、そして支えてくれる同期への感謝の気持ちを忘れずにこれからも努力し続けたいと思います。

そして常に日本一の水族館を、また誰よりもすごいMCを目指し、どこの水族館にも負けない最高の動物、最高のショーを必ず作り上げたいと思います。

至らぬところばかりかと思いますが、早く先輩方を越えられるよう頑張りますので、これからも熱いご指導よろしくお願い致します。



小峠 朝海
(ことうげ あさみ)

出身：福岡県

所属：津久見事業場 飼育部門

私はこの一年、たくさんのことを経験させていただきました。入社して一週間でイルカのストランディング個体の保護に同行させてもらうことができました。まったく戦力になっていませんでしたが、こういった状況では何が必要でどういう動きをするのかを学びました。平成28年11月には、いろいろな水族館の獣医師や大学の先生方とのイルカの麻酔実験に立ち会うことができました。滅多に経験できることじゃないと思います。「トレーナーは、獣医師がスムーズに実験できるように取り上げ、保定、リリースをスムーズに行う。」と教わりました。今回はあまり力になれていなかったと思いますが、こういう場面で率先して動くことができるようになりたいと思います。またこのような麻酔実験が実現できる施設と人脈があるということに感動しました。そしてイルカの出産です。妊娠から出産までのすべての過程を経験できました。出産するまでに行った母体のケアや24時間体制の観察、出産後に備えた衝突防止シートなどいろいろな対策処置を学び経験できました。次に妊娠個体がでたときは今回のことを生かしもっと率先して取り組もうと

思います。

これらの経験させてもらったことや、私が今働かせてもらっている環境は本当に他にはないものだと思います。この環境で働けることに感謝です。でもこの環境を生かせるか生かせないかは自分次第だと思うので、生かせるよう、無駄にしないように自分にできることを躊躇せずどんどんやっていき、全部自分の力にしていきたいです。またこの一年間で一番時間を費やしたのがMCです。喋り方、間の取り方、お客様参加のときの盛り上げ方といろいろ教わり、とても苦戦しました。今もたくさん悩みます。でもうまくできたときやお客様にたくさん拍手や歓声をもたらしたとき、すごくやりがいを感じました。もっとうまくなってもっと盛り上げたいと思います。いつかは教えてくれた師より面白いMCができるように、これからもがんばります。

この一年を振り返って



佐藤 すみれ
(さとう すみれ)

出身：宮城県

所属：飼育部 獣類グループ

トレーナーとして働き始めて感じたことは、責任の重大さです。私はお客様に「笑顔」、「感動」を与え、動物たちの魅力を多くの人に伝えていきたいと思いこの業界を入りました。

しかし、そうなるためにはまず、私が動物たちの命を全力で守り、その魅力を自分自身の力で引き出していなくてはならないという使命に気付かされました。分かっていたはずのことでしたが、いざ動物が危険な状態、又は処置しなくてはいけない状況になると、何もできない自分を情けなく思い、自分の至らなさを強く実感することが多くありました。処置方法だけでなく、日々の業務、トレーニングやパフォーマンスでも毎日何かで失敗し指導を受け、私自身の成長が見られず先輩方に迷惑をかけてしまうことも多くありました。今まで何事も上手くすり抜けて来た私にとってこの仕事はぶつかる壁ばかりでした。まだまだやらなくてはならないこと、学ぶべきことは無くならず終わりのない迷路にいる気持ちです。

でも、そんな時の先輩方からの言葉やアドバイスは、

行き場を見失っている私を導き、成長させてくれます。他の園館では学べない、感じられないであろうことをたくさん教えてくれます。「いつかこんな人になりたい」そう思える先輩の下で働けていることを私は誇りに思います。

今は入社して2年目。後輩もでき、これから私は新人としてではなく、先輩としても頑張らなくてはなりません。きっと後輩たちは、私が迷った道をこれから通ると思います。そのときは私が先輩にしてもらったように、進むべき道にしっかり導いてあげられる存在になりたいです。そしてこれからも応援してくれている両親や親戚、友達に感謝の気持ちを忘れず、毎日先輩方の背中を追いかけながら学ぶ意志を持ち続け、いつか自分が“なりたい”と思い描いていたトレーナーとしてお客様に「笑顔」、「感動」を与え、動物たちの魅力を多くの人に伝えられるよう日々の業務に励んでいきます。



中野 新輝子
(なかの あきこ)

出身：大分県

所属：営業部 営業グループ ガイド

入社してから今までの日々を振り返ってみると、人と人との繋がりの大切さを再認識した1年であったと感じました。特にそう感じさせた出来事と言えば、入社してすぐの平成28年4月に起こった熊本地震です。大分でも大きな地震が起こり、余震が多く続く不安の中、お客様からはたくさんの優しい暖かいお言葉をいただきました。その暖かい言葉をくださったお客様に恩返しができるように、他の被災した方々に自分が貰った元気を分けられるようにと、まだ仕事に慣れないながらも頑張ることができました。とても大変な出来事でしたが、お客様との繋がりを認識する良い経験でもあったと思います。

またお客様だけではなく、先輩や同期からも頑張っていく力を多くもらいました。私は大学で魚の勉強をしていたのですが、初めて経験する“接客”という点で分からないことが数多くありました。「お客様のためと思ったことは先ず行動に移す」という自分の中での目標はありましたが、上手いかなかったり判断に迷って躊躇してしまうときもありました。困りきってしまうことも何度かあったのですが、その度に先輩からの指導や叱咤激

励、同期からの励ましに助けられました。いつも快く相談に応じてくださる先輩、お互いに切磋琢磨させてくれる同期には感謝の気持ちでいっぱいです。

振り返ってみると、この1年は物凄いスピードで過ぎていったように感じます。あっという間に2年目となり、1日1日しっかりと気を引き締めていかなければ、と考える今日この頃です。

ところで、私の今年度の目標は「もっと広い視野を持つ」こととしています。1年目はあまり仕事に慣れておらず、既成概念にとらわれてしまったり、ひとつのことに集中してしまうことが多かったためです。仕事に慣れてきたこの2年目は、もっと色々な観点から物事を見て、お客様に合わせた多種多様な接客を心掛けていきたいと思っています。まだまだ未熟な点がある私ですが、より一層精進していきたいです。

A large, solid blue egg-shaped graphic centered on the page, serving as a background for the title text.

活動報告

活動報告

1. 飼育・展示活動

1-1. 新規導入生物

分類			和名	学名
脊索動物門	哺乳綱	被甲目	アルマジロ科	ムツオビアルマジロ
		ネコ目 (食肉目)	アシカ科	ミナミアメリカオットセイ
	鳥綱	オウム目	オウム科	キバタン (基亜種)
		フクロウ目	フクロウ科	ベンガルワシミミズク
	爬虫綱	カメ目	リクガメ科	ケヅメリクガメ
		有鱗目	カメレオン科	パンサーカメレオン
	両生綱	カエル目	アマガエル科	ドクアマガエル
		メジロザメ目	メジロザメ科	スミツキザメ
	軟骨魚綱	ノコギリザメ目	ノコギリザメ科	ノコギリザメ
		ガンギエイ目	ガンギエイ科	ガンギエイ科の一種
	条鰭綱	ウナギ目	ウツボ科	オナガウツボ
		カラシン目	カラシン科	メティニス
		ナマズ目	カリクティス科	コリドラス・ジュリー
				コリドラス・ステルバイ
				コリドラス属の一種
		カダヤシ目	カダヤシ科	シルバーセイルフィンモーリー
		スズキ目	メバル科	ウスメバル
			フサカサゴ科	ヒメヤマノカミ
			テンジクダイ科	スカシテンジクダイ
				ヨコスジイシモチ
			アジ科	テンジクアジ
				ロウニンアジ
			フエダイ科	オオグチイシチビキ
			タカサゴ科	タカサゴ
			チョウチョウウオ科	オレンジフェイスバタフライ
				フィッシュ
			ツバメコノシロ科	ツバメコノシロ
		フグ目	カワハギ科	ノコギリハギ
刺胞動物門	箱虫綱	アンドンクラゲ目	イルカンジクラゲ科	ヒクラゲ
	鉢虫綱	根口クラゲ目	イボクラゲ科	エビクラゲ
	ヒドロ虫綱	花クラゲ目	エボシクラゲ科	エボシクラゲ
			キタカミクラゲ科	カミクラゲ
			タマウミヒドラ科	サルシアクラゲ
	花虫綱	イシサンゴ目	センスガイ科	キンシサンゴ
			キサンゴ科	ハナタテサンゴ
		イソギンチャク目		ムツサンゴ
			ウメボシイソギンチャク科	クロガネイソギンチャク
節足動物門	軟甲綱	十脚目	テナガエビ科	オドリカクレエビ
			モエビ科	カシュウアサスジモエビ
			アカザエビ科	アカザエビ
			セミエビ科	ウチワエビ
			オカヤドカリ科	オカヤドカリ
			オオエンコウガニ科	オオエンコウガニ
			オウギガニ科	ドロインガニ
棘皮	ヒトデ綱	アカヒトデ目	コブヒトデ科	カワテブクロ
		ニチリンヒトデ目	ゴカクヒトデ科	ホシヒトデ
		マヒトデ目	マヒトデ科	ヤツデヒトデ

1-2. 長期飼育個体 (特筆すべきもの * を除き、10 年以上の記録)

和名	個体名	性別	飼育開始年				
トド	ドン	オス	2002 年	セイウチ	みー	メス	2001 年
	心愛	メス	2005 年	ハイイロアザラシ	ポテチ	オス	2003 年
セイウチ	ぶぶ	メス	2001 年		コロシ	メス	2003 年
				ゴマフアザラシ	つとむ	オス	2002 年

1. 飼育・展示活動

バイカルアザラシ	アル	オス	2004 年
ハセイルカ *	ハルカ	メス	2008 年
バンドウイルカ	ササ	メス	2003 年
	クク	メス	2003 年
	ララ	メス	2003 年
マゼランペンギン	みつくに	オス	2001 年
	由美	メス	2001 年
モモイロペリカン	久万	オス	2002 年
	コマル	オス	2002 年
	女王	メス	2002 年
	スズメ	オス	2003 年
アオウミガメ	—	—	2004 年以前
ジーベンロックナガクビガメ	—	—	2004 年以前
スッポンモドキ	—	—	2004 年以前
クサガメ	—	—	2004 年以前
ナポレオンフィッシュ	—	—	2004 年以前

1-3. 繁殖個体

◎ 2015 年度

和名	個体数
ハイロアザラシ	1
カイウサギ (ネザーランドドワーフ)	3
マゼランペンギン	2
フトアゴヒゲトカゲ	1

◎ 2016 年度

和名	個体数
マゼランペンギン	1

1-4. 特別展示

ワンダーゾーン特別展

2015 年 4 月 18 日～2015 年 6 月 30 日 開催



水槽タイトル	展示生物
本家、鯛！	マダイ
あやかりタイ！ イサキの仲間	コロダイ
あやかりタイ！ テンジクダイの仲間	イトヒキテンジクダイ
あやかりタイ！ フエダイの仲間	イレズミフエダイ

2015 年 7 月 3 日～2015 年 9 月 29 日 開催



水槽タイトル	展示生物
フィンセント・ファン・ゴッホ 「星降る夜、アルル」	ネッタイズズメダイ トゲチョウチョウウオ マメスナギンチャク
葛飾北斎 「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」	スカシテンジクダイ ミズタマサンゴ オオナガレハナサンゴ
雪舟「秋冬山水画」	ヘコアユ
マイケル・リン 「別府 04・11-06・14. 09」	キンギョハナダイ オオトゲトサカ

2015 年 10 月 1 日～2015 年 11 月 3 日 開催



水槽タイトル	展示生物
ハロウィン★マジック	サカサナマズ コリドラス・アドルフオイ
ゴーストマンション	ブラックゴースト
パンプキンの中は パーティー・パーティー	ミッキーマウスブラチー ヤマトヌマエビ グラスキャットフィッシュ
Trick or Treat	カクレクマノミ ヤドカリの仲間

2015 年 12 月 19 日～2016 年 1 月 31 日 開催



水槽タイトル	展示生物
正面から見ると… サルの顔にそっくり！？	モンツキカエルウオ
漢字で書くと猿蟹蟹	エンコウガニ
英語で…Monkey shrimp	サンゴモエビ
英語で…Monkey fish	ダルマオコゼ

活動報告

2016年3月18日～2016年7月5日開催



水槽タイトル	展示生物
—	アブラボテ
—	ヤリタナゴ
九州限定！！	カゼトゲタナゴ
実は、中国大陸よりやってきた！！ 外来種	タイリクバラタナゴ

2016年7月8日～2016年9月6日開催



水槽タイトル	展示生物
UMI COLLECTION 開催！	ハナミノカサゴ
お部屋でファッションショー！？	ノコギリハギ
表紙を飾るイケメン！	クギベラ
夏のショーウィンドウ	チョウチョウウオの仲間

2016年9月8日～2016年11月20日開催



水槽タイトル	展示生物
「温泉×在来種」 温泉にすむ固有種	オンセンミズゴマツボ (標本)
「温泉×外来種」 温泉は異国の楽園♪	グッピー ナイルティラピア
「温泉×養殖」 温泉熱ですくすく育つ	スッポン
「温泉×観光」 入浴だけじゃない！温泉の観光利用	ガラ・ルフア

レクチャールーム特別展

2016年3月5日～2016年4月17日開催



「海を調べる」をテーマに、地元大分から世界最深部の海を調べる最先端テクノロジーや、そこでくらす深海生物について紹介した。JAMSTEC(海洋研究開発機構)協力のもと、大分県では初めてとなる深海探査機の実物や模型、貴重な映像資料などを多数展示した。

「海を調べる」をテーマに、地元大分から世界最深部の海を調べる最先端テクノロジーや、そこでくらす深海生物について紹介した。JAMSTEC(海洋研究開発機構)協力のもと、大分県では初めてとなる深海探査機の実物や模型、貴重な映像資料などを多数展示した。

「海を調べる」をテーマに、地元大分から世界最深部の海を調べる最先端テクノロジーや、そこでくらす深海生物について紹介した。JAMSTEC(海洋研究開発機構)協力のもと、大分県では初めてとなる深海探査機の実物や模型、貴重な映像資料などを多数展示した。

2016年11月22日～2016年12月25日開催



水槽タイトル	展示生物
メリーキッシング	バルーンキッシンググラミー
雪降る夜に大忙し	ミツボシクロスズメダイ シロボシアカモエビ
癒しのスノードーム	シルバーモーリー レッドビーシュリンプ
白いトナカイ？	メキシコサラマンダー

2016年12月27日～2017年1月31日開催



水槽タイトル	展示生物
—	クギベラ
—	ウミスズメ
—	タンチョウ
—	タカノハダイ

2017年2月17日～2017年3月20日開催



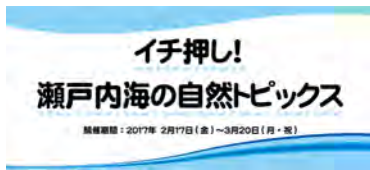
水槽タイトル	展示生物
—	カブトガニ
—	アマモ
—	マダコ
—	ヒガシナメクジウオ

また期間中には、JAMSTECと共同で「第12回 海と地球の研究 所セミナー」と題して、JAMSTECの研究者や「しんかい6500」の開発に携わった技術者の話、その他にも水圧実験や水中ロボットの操縦体験などの体験イベントも開催した。



1. 飼育・展示活動

2017年2月17日～2017年3月20日開催



本企画展は「うみたまご」と大阪市立自然史博物館の共催によるものであり、巡回展としては当館初の取り組みであった。大阪市立

自然史博物館が瀬戸内海で調査や研究、そして資料収集を行ってきたこれまでの成果について、瀬戸内海の各地域の博物館、

研究機関、水族館等と連携し、これは「イチ押し」だと思う瀬戸内海の自然をトピック形式で紹介した。展示内容は地質・植物・動物・漁具など130種336点に及び、瀬戸内海全体の自然の様子を知ってもらえるものとなった。



1-5. 展示協力

◎ 2015 年度

期間	提供先	展示名称等	内容
7月5日～	越前松島水族館	コツメカワウソ常設展示	生物提供
7月28日～	アクアプラネットイルサン(韓国)	大水槽常設展示	大型エイ2個体提供・技術指導
11月17日～	すみだ水族館	杉乃井ホテル「シーダパレス」内水槽	生物提供、海水・濾材提供

◎ 2016 年度

期間	提供先	展示名称等	内容
12月23日～ 03月20日	番匠おさかな館	特別展「ふくきたる」	サザナミフグ全身骨格標本貸出

活動報告

2. 調査・研究活動

2-1. 新規所蔵標本

分類	和名	学名	部位	形態	点数
魚類	ノコギリザメ	<i>Pristiophorus japonicus</i>	全身	液浸	1
	ハナタツ	<i>Hippocampus sindonis</i>	全身	液浸	1
	サザナミフグ	<i>Arothron hispidus</i>	全身	骨格	1

2-2. 口頭発表等

発表者	演題	発表会議
植田啓一 1・十萬仁志 2・冠城貴紀 2・村雲清美 1・鈴木美和 3・宮原弘和 1・田中 平 2 (1 沖縄美ら海水族館, 2 大分マリンパレス水族館「うみたまご」, 3 日本大学)	マダライルカ輸送時の低体温症治療について	第 41 回海獣技術者研究会, 2015 年 10 月 7 日～8 日
岩井美菜	大分県内で見られたクラゲ類	第 5 回大分自然環境研究発表会, 2015 年 12 月 19 日
阿保諒	水族館での取り組み	第 3 回哺乳類研究交流会, 2016 年 9 月 9 日～11 日
澤修作 1・山田研祐 1・永延清和 2・鳥巢至道 2・柳澤牧央 3・植田啓一 3, 田中平 1 (1 大分マリンパレス水族館「うみたまご」, 2 宮崎大学, 3 沖縄美ら島財団)	皮下腫瘍を発症したバンドウイルカにおける外科的治療	第 22 回野生動物医学会, 2016 年 9 月 16 日～18 日
Hiroki SASAKI and Tetsuya KOMINAMI (Department of Chemistry and Biology, Graduate school of Science and Engineering, Ehime University)	Nodal expression and establishment of embryonic axes in the starfish <i>Patiria pectinifera</i>	The joint meeting of the 22nd International Congress Zoology and 87th Meeting of the Zoological Society Japan, 2016 年 11 月 14 日～19 日
岩井美菜	大分県内で確認されたクラゲ類について	第 12 回日本刺胞・有櫛動物研究談話会, 2016 年 11 月 21 日
高野裕樹 1,2・星野和夫 1,2・大倉鉄也 2・松尾敏生 2・渡辺勝敏 3 (1 大分マリンパレス水族館「うみたまご」, 2 大分生物談話会, 3 京都大学大学院理学研究科)	大分川水系に定着した国内外来魚ギギの分布と由来	第 6 回大分自然環境研究発表会, 2016 年 12 月 17 日
岩井美菜, 星野和夫	特別展示「マリンサイエンス～海の科学展～」の紹介	第 61 回水族館技術者研究会 2017 年 1 月 24 日～25 日

※当館スタッフの発表について、要旨のあるものは 16 ページ以降に掲載。

2-3. 論文・報告書

発行年	著者	題名	雑誌名
2015	高野裕樹 1,2・星野和夫 1,2・大倉鉄也 1・三ノ宮英幸 1・松尾敏生 1 (1 大分生物談話会魚類班, 2 大分マリンパレス水族館「うみたまご」)	大分県東国東郡姫島の淡水魚類相	大分自然博物誌 オープンゴエンス, 1: 10-18
2016	高野裕樹 1,2・星野和夫 1,2・大倉鉄也 2・松尾敏生 2・渡辺勝敏 3 (1 大分マリンパレス水族館「うみたまご」, 2 大分生物談話会, 3 京都大学大学院理学研究科)	大分川水系に定着した国内外来魚ギギの分布と由来	魚類学雑誌 63(1): 11-17
2017	高野裕樹 1・三ノ宮英幸 1・森田祐介 1・永野昌博 1,2・水田琴美 3・星野和夫 1,3 (1 大分生物談話会, 2 大分大学教育学部, 3 大分マリンパレス水族館「うみたまご」)	大野川水系奥嶽川の魚類採集記録	平成 28 年度豊後大野市生物多様性調査委託業務報告書, 豊後大野市, pp. 28-40

2-4. 受託調査・研究

期間	事業名	委嘱元	担当
2015 年 9 月 3 日～11 月 30 日	平成 27 年度特別天然記念物オオサンショウウオ生態調査 (潜水調査) 委託	宇佐市教育委員会	星野和夫・佐々木裕己

2. 調査・研究活動

2016年3月16日 ～3月19日	平成27年度特別天然記念物オオサンショウ ウオ生態調査(幼生)委託	宇佐市教育委員会	今井謙介・佐々木裕己
2016年6月8日～ 2017年3月31日	平成28年度 芹川の水生物調査委託業務	大分県生活環境部 環境保全課	星野和夫・水田琴美

2-5. 共同調査・研究

期間	調査・研究テーマ	共同調査機関
2005年～	・スナメリの生態解明 ・飼育下での繁殖に向けた研究と技術開発 ・スナメリの生息域内外での保全	[瀬戸内海西方海域スナメリ協議会] 下関市立しものせき水族館「海響館」(山口県) 海の中道海洋生態科学館「マリンワールド海の中道」(福岡県)
2008年～	ハセイルカの生態	一般財団法人 日本鯨類研究所
2016年～	ハンドウイルカの培養細胞を用いた環境汚染物質 の免疫・細胞毒性影響評価	愛媛大学沿岸環境科学研究センター
2016年～	雌雄イルカの非侵襲的内分泌動態検査法の開発お よび、本法を用いたイルカの繁殖生理学的研	岡山理科大学
2016年～	非侵襲的、飼育下イルカのストレス評価法の開発 —イルカにとって水族館はストレスか?—	岡山理科大学
2016年～	注射麻酔薬プロポフォールを中心としたイルカの 全身麻酔法の検討	宮崎大学
2016年～	イルカ島のイルカから新しい乳酸菌を分離する	日本大学生物資源科学部

【第 5 回大分自然環境研究発表会】

【第 12 回日本刺胞・有櫛動物研究談話会】

大分県内で見られたクラゲ類

大分県内で確認されたクラゲ類について

岩井 美菜

大分マリーナパレス水族館「うみたまご」

はじめに

一般に「クラゲ」と呼ばれる生物は、刺胞動物門、もしくは有櫛動物門のいずれかに分類され、ゼラチン質の体を持ち、多くはプランクトンである。世界では約 3,000 種以上が知られ、日本国内からはそのうちの 200 種以上が確認され、現在も新種が報告されている。しかし、大分県内におけるクラゲ類の種数などに関する基礎的情報は皆無であるため、今回、県内におけるクラゲ類の出現種数の把握を目的に調査を行った。

方法

調査日 2012 年 7 月から 2015 年 12 月にかけて得られた情報をまとめた。また天候については、雨天でなく、風・波のない日に行った。

調査地 県内各地の漁港やヨットハーバー、池など、計 24 地点を中心に調査を行った。

採集方法 岸壁からの目視確認、およびひしゃくや熱帯魚用のネットを用いた採集を行った。また、小型船舶による海上採集、集魚灯を用いた夜間採集、さらに、定置網の混獲物採集も行った。

結果

刺胞動物門 23 種、有櫛動物門 6 種を同定した。前者では、鉢虫綱 6 種(ミズクラゲ、アカクラゲ、ユウレイクラゲ、タコクラゲ、エビクラゲ、アマクサクラゲ)、箱虫綱 2 種(アンドンクラゲ、ヒクラゲ)、ヒドロ虫綱 15 種(ハナガ

サクラゲ、マミズクラゲ、オワンクラゲ、ヒトモシクラゲ、カラカサクラゲ、ニチリンクラゲ、ドフラインクラゲ、カミクラゲ、ツツミクラゲ、トウロウクラゲ、エイレネクラゲ、コモチカギノテクラゲ、ヤジロベエクラゲ、ハコクラゲモドキ、タマゴフタツクラゲモドキ)を確認した。後者では、無触手綱 2 種(ウリクラゲ、アミガサウリクラゲ)、有触手綱 4 種(カブトクラゲ、ヘンゲクラゲ、ツノクラゲ、チョウクラゲ)を確認した。その他、同定が困難なものが数種あった。

考察

今回の調査ではより多くの種を確認することを目的に、調査地点を多く設け観察・調査を行ったが、クラゲ類がまったく見られないこともしばしばであった。クラゲ類の出現は季節性があり、種によって出現時期が異なり、同時期であっても海域や港によって出現する種が異なる。また、プランクトンであるため潮汐や潮流、天候や波浪の影響を受けやすい。そのため、未確認の種も多くいると考えられる。さらに夜行性のものや、プランクトン生活様式を持たないものも県内に分布する可能性が十分にあるため、今後は未確認種の把握を目的に、新規に調査地点を設けつつ、新たな調査方法も検討していきたい。また、本調査ではクラゲ類が比較的良好に確認できる環境や条件の傾向も徐々に把握できてきたため、定点調査によるクラゲ類の出現状況の季節的変動も明らかにしていきたい。

【第 22 回野生動物医学会】

皮下腫瘍を発症したバンドウイルカにおける外科的治療

澤 修作¹, ○山田 研祐¹, 永延 清和², 鳥巢 至道², 柳澤 牧央³, 植田 啓一³, 田中 平¹
(¹大分マリンパレス水族館「うみたまご」, ²宮崎大学, ³沖縄美ら島財団)

Surgical management for the bottlenose dolphin *Tursiops truncatus* which a subcutaneous mass developed in

Shusaku Sawa¹, Kensuke Yamada¹, Shido Torisu², Kiyokazu Naganobu², Makio Yanagisawa³, Keiichi Ueda³, Taira Tanaka (¹Oita Marine-Palace aquarium “Umitamago”, ²Miyazaki University, ³Okinawa Churashima Foundation)

[目的] *Staphylococcus aureus* を起炎菌とする皮下腫瘍を発症した飼育下鯨類に実施した全身麻酔下での外科手術及び術後管理について報告する。

[材料および方法] 症例はバンドウイルカ *Tursiops truncatus*, 個体名ムサシ, 雄, 体長 286cm, 推定体重 283kg, 推定年齢 9 歳. 2012 年 5 月に右体側尾柄部に腫脹を認めた. 断続的な抗菌薬治療を長期間実施したが, 縮小と再発を繰り返し進行したため, 2014 年~2015 年にかけて生検, X 線検査, CT 検査を実施し, *S. aureus* を起炎菌とする, 脊椎骨への浸潤を認めない皮下膿瘍と診断した. その後も抗菌薬治療を継続したが完治に至らないため, 2016 年 1 月 12 日に皮下膿瘍の切除手術を実施した. 全身麻酔では, ミダゾラム(0.05 mg/kg)及びブトルファノール(0.05 mg/kg)を筋肉内投与後, プロポフォール(4.0 mg/kg)静脈内投与で麻酔導入して気管挿管し, 人工呼吸器を搭載した大動物用麻酔器を用いて酸素-セボフルラン吸入麻酔で維持した. また必要に応じてプロポフォールを間欠的に静脈内投与した. 手術は皮下に触知される腫瘍を皮膚と皮下組織そして筋膜を含むブロック(約 10×10×5 cm)で切除し, 術後は縫合せずに開放創として管理した. 覚醒にはフルマゼニル(0.04 mg/kg)静脈内投与を行い, 自発呼吸を確認したのち抜管した. 術後は, 流水洗浄, 1 日 1 回のデブリードマン, 紫外線灯による殺菌, および抗菌薬の経口投与により感染制御を行った.

[結果と考察] 使用した薬物の作用, および調整呼吸の効果は陸棲哺乳類とほぼ同様であったが, 低気温下での実施が原因と思われる吸入麻酔薬の気化不良が起こっており, 今後の課題とされる. 覚醒・放池後は手術の影響と思われる軽度な変化はあったが, 遊泳・摂餌に関わる大きな異常はみられなかった. 術後 1 カ月経過時に, 菌交代現象あるいはデブリードマンの省略・簡略化に起因するとされる炎症反応がみられており, 真菌まで考慮した感染予防および 1 日 1 回のデブリードマンは必須と考えられた. 術創は 170 日をもって閉創とした.

活動報告

[The joint meeting of the 22nd International Congress Zoology and 87th Meeting of the Zoological Society Japan]

Nodal expression and establishment of embryonic axes in the starfish *Patilia pectinifera*

Hiroki SASAKI and Tetsuya KOMINAMI

Department of Chemistry and Biology, Graduate school of Science and Engineering, Ehime University

Introduction

Most bilaterian embryos have three body axes: antero-posterior (AP) axis, dorsal-ventral (DV) axis, and left-right (LR) axis. In many species, the AP-axis is established with the cleavage already set in the oocyte. In contrast to this, the DV-axis and LR-axis are specified through some events occurring after fertilization or cell-cell interactions during early embryogenesis.

In vertebrate embryos, Nodal (a member of TGF- β superfamily) plays an important role in the LR-axis formation. Also in sea urchin embryos, Nodal specifies the LR-axis via a similar signaling pathway (Doherty et al., 2005). At the gastrula stage, Nodal is expressed at the archenteron tip and at a part of ectoderm on the right side. Disturbance of this expression results in loss of the left-right asymmetry: the echinus rudiment, which forms at the left side in normal development, forms at both sides of the stomach. Nodal is also necessary for the specification of DV-axis. The expression becomes noticed at the prospective oral region as early as the 40-cell stage (Hewes et al., 2004; Doherty et al., 2005). Disturbance of this early expression leads to the loss of DV-axis embryos become completely radialized along the AP-axis.

Does Nodal play similar roles in starfish embryos? In *Patilia pectinifera*, Fregues et al. (2014) isolated dozens of germ layer specific genes including Nodal. Like in sea urchin embryos, Nodal is expressed at the archenteron tip and at a part of the ectoderm around the late gastrula stage. This suggests that Nodal plays some role in the LR-axis specification also in starfish embryos. However, detailed expression pattern of Nodal is not known. Further, it is quite unknown whether Nodal is involved in the specification of DV-axis.

In this study, we aimed to gain information on the DV-axis and LR-axis formation in starfish embryos with special reference to Nodal expression. To study the Nodal expression profile, we cloned a homolog of Nodal in *Patilia pectinifera* (*PpNodal*), and performed semi-quantitative PCR (sq-PCR). With *in situ* hybridization, we studied when and where Nodal is expressed. To investigate the role of Nodal, we also observed the morphological changes caused by inhibitor treatments. For this purpose, SB431542 and SB525334 were employed. The former is supposed to inhibit specifically the signal mediated with Nodal, and the latter is known to inhibit broadly the signaling pathway mediated with various members of TGF- β superfamily.

Experiments and Results

Nodal expression in starfish and sea urchin embryos

● The LR-axis in starfish and sea urchin embryos

Starfish (*Patilia pectinifera*) at 20°C

The morphological differences along the LR-axis become noticeable at the early bipinnaria stage (2-3 days).

- The left coelomic pouch is larger than the right one.
- One posterior enterocoel forms at the left side of stomach.
- A canal connects the posterior end of left coelomic pouch and the hydropore.



Sea urchin (*Hemicentrotus pulcherrimus*) at 18°C

Echinus rudiment forms at considerably later stage (2-3 weeks).

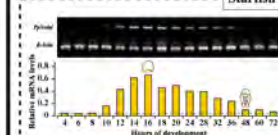
- The larva is bilaterally symmetrical until the echinus rudiment forms on the left side.



Developmental time schedules of *P. pectinifera* (Starfish) and *H. pulcherrimus* (Sea urchin) are almost comparable with respect to the timing of the initiation of gastrulation, mesenchyme migration, and the formation of coelomic pouches.

● sqPCR and *in situ* hybridization

Starfish



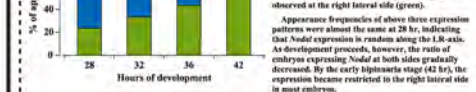
PpNodal mRNA was first detected at 8 hr of development (mid-blastula stage). The expression level increased rapidly, and reached the plateau around the initiation of gastrulation (16 hr). Then, the expression level became gradually lowered up to the stage of coelomic pouch formation (36 hr). After the completion of coelomic pouch formation (48 hr), the expression was scarcely detected.



Before the gastrula stage, Nodal was expressed weakly in the whole embryo. Around the onset of gastrulation, the expression restricted to some discrete regions in the ectoderm, especially at the equatorial level (at the expression in ectoderm, details will be described later).

From 28 hr, the expression became noticed also in the archenteron. At 24 hr, the mRNA was observed in presumptive coelomic regions and at some parts of ectoderm. After 28 hr, the expression in mesenchyme restricted to posterior-right side.

After the initiation of coelomic pouch formation (36 hr), the signal was observed at the anterior-right of the presumptive stomach.

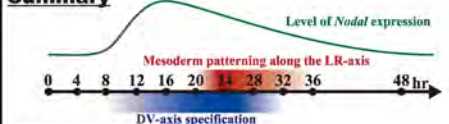


From the late gastrula stage (28 hr), the DV-axis became noticeably by the bending of archenteron toward the future oral opening. It was evident that Nodal is expressed at neither ventral nor dorsal, but lateral parts. In one third of embryos, Nodal was expressed at both sides (designated with red). In another embryo, the signal was observed at the left lateral side (blue). In some embryos, the signal was observed at the right lateral side (green).

Appearance frequencies of above three expression patterns were almost the same at 28 hr, indicating that Nodal expression is random along the LR-axis. As development proceeds, however, the ratio of embryos expressing Nodal at both sides gradually decreased. By the early bipinnaria stage (42 hr), the expression became restricted to the right lateral side in most embryos.

Is the Nodal expressed in the ectoderm necessary for the patterning of ciliated bands?

Summary



Nodal expression

- Unlike in sea urchin embryos, Nodal shows a single peak around the onset of gastrulation.
- Nodal shows complicated expression patterns in the ectoderm from the mid-gastrula stage to the early bipinnaria stage.

LR-axis specification

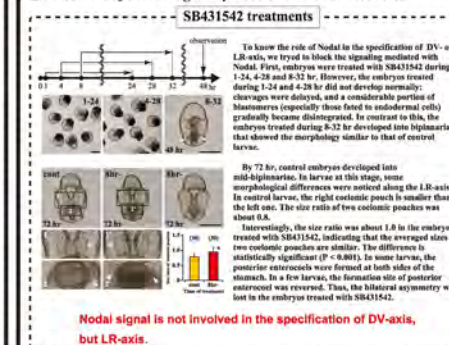
- Nodal is necessary for the proper formation of coelomic pouches.
- Nodal is also necessary for specification of the site of posterior enterocoel formation.

DV-axis specification

- Unlike in sea urchin embryos, Nodal is not involved in the specification of DV-axis in starfish embryos.
- The DV-axis of starfish embryos would be specified with some molecules of TGF- β superfamily (other than Nodal).
- The DV-axis of *P. pectinifera* embryos is specified by the mid-gastrula stage (24 hr).

The role of Nodal in the axis specification

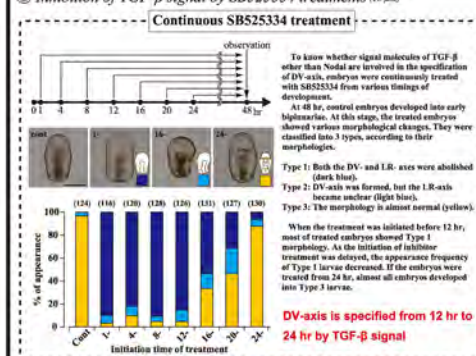
● Inhibition of Nodal signal by SB431542 treatment (10 μ M)



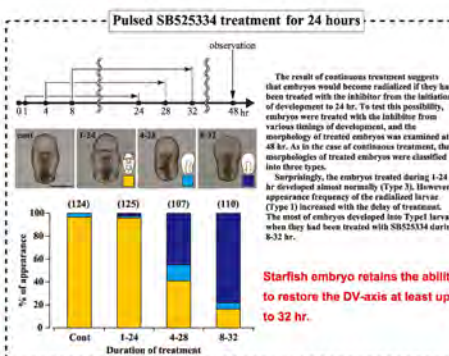
Nodal signal is not involved in the specification of DV-axis, but LR-axis.

Timing of DV-axis specification

● Inhibition of TGF- β signal by SB525334 treatments (10 μ M)



DV-axis is specified from 12 hr to 24 hr by TGF- β signal



Starfish embryo retains the ability to restore the DV-axis at least up to 32 hr.

All scale bars indicate 200 μ m.

【第 61 回水族館技術者研究会】

特別展示「マリンサイエンス～海の科学展～」の紹介

○岩井 美菜, 星野 和夫

(大分マリンパレス水族館「うみたまご」)

大分マリンパレス水族館「うみたまご」では、当館レクチャールーム(約 110 m²)にて 2016 年 3 月 5 日～4 月 17 日の 44 日間、春休みの特別展示として「マリンサイエンス～海の科学展～」とそれに関連するイベントを開催した。大分県にはいわゆる科学館が存在せず、大分県民が海洋科学調査技術に触れる機会ほぼ皆無である。そのため、本企画では大分県農林水産研究指導センター水産研究部(以下、水産センター)、国立研究開発法人海洋研究開発機構(以下、JAMSTEC)、東京海洋大学(以下、海洋大)協力のもと、大分県沿岸域から世界最深部の海域まで「海を調べる」をテーマに、昨今の深海生物への関心の高まりをとおして、それらがくらしている海洋環境を知り、その調査技術への興味も広げてもらうことを目的とした。

展示は、(1)大分の海、(2)マリンサイエンス、(3)参加体験の 3 コーナーで構成した。(1)では大分県沿岸域の概要、4 つのエリアに分けられる多様な海洋環境とそこで見られる希少な生物、水産センターの研究成果をパネルで紹介した。(2)では、JAMSTEC 所有の探査機や調査船などのパネルや模型、また海洋大所有の遠隔操作型深海無人探査機(以下、ROV)の実機の展示で最新の海洋調査技術の詳細を紹介した。深海生物については標本やビデオ映像で紹介した。(3)では来館者が探査機やオオグソクムシなどのペーパークラフトを自由に作成できるワークスペースを設けた。

関連イベントは、深海の水圧を再現する実験を期間中の平日に 1 回、土日祝日に 2 回実施した。さらに 3 月 20、21、27 日には、水族館での開催は 2 例目となる JAMSTEC との共催イベント「第 12 回 海と地球の研究所セミナー」を開催し、JAMSTEC 研究者や有人潜水調査船「しんかい 6500」の開発に携わった技術者の講演、そして小・中学生を対象に ROV の操縦体験なども行った。

活動報告

3. 教育普及活動

3-1. 移動水族館（出張タッチプール）

◎ 2015 年度

実施日	企画名等	主催	会場
06 月 28 日	「うみたまご」からペンギンがやってくる！ 同時開催：海の生き物タッチプール	パークプレイス大分	パークプレイス大分
07 月 03 日	熊本地震 慰問タッチプール	マリーンパレス	益城町総合体育館
08 月 20 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	宇佐文化会館・ウサノピア
09 月 21 日	第 16 回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園「多目的広場」
10 月 18 日	多世代交流いきいき子どもフェスタ 2015	城東原川地区社会教育関係団体連絡協議会	大分市大分東部公民館
11 月 01 日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
02 月 06 日 07 日	九州マツダ展示会	九州マツダ	西日本総合展示場

◎ 2016 年度

実施日	企画名等	主催	会場
06 月 26 日	「うみたまご」からペンギンがやってくる！ 同時開催：海の生き物タッチプール	パークプレイス大分	パークプレイス大分
07 月 09 日	そなえる つながる の～んびり親子の居場所 Part 2 in 御船	NPO 法人 みるくらぶ	御船町カルチャーセンター
09 月 22 日	第 17 回 親子ふれあい動物フェスタ	大分市保健所衛生課	大分市平和市民公園「多目的広場」
10 月 16 日	多世代交流いきいき子どもフェスタ 2016	城東原川地区社会教育関係団体連絡協議会	大分市大分東部公民館
10 月 30 日	—	佐伯市立名護屋小学校 PTA	佐伯市立名護屋小学校
11 月 06 日	滝尾っ子まつり	大分市立滝尾小学校 PTA	大分市立滝尾小学校
11 月 26 日	熊本地震復興支援事業 南阿蘇ふれあい移動動物園	NPO 法人 One Field	南阿蘇旧白水中学校
12 月 10 日	熊本地震 慰問タッチプール	NPO 法人 みるくらぶ	ゆめタウン サンピアン
03 月 19 日	ALP 住宅展示会	ALP わさだハウジングタウン	ALP わさだハウジングタウン

3-2. 観察会

◎ 2015 年度

実施日	企画名等	主催	会場
06 月 04 日	水生生物観察会	大分市立こうざき小学校	小貓川連絡水路 くすの木公園
07 月 18 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	大分市 七瀬川（七瀬川自然公園）
07 月 31 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	別府市 上人ヶ浜
08 月 01 日	マリーンスクール '15 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
08 月 10 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	佐伯市 霞ヶ浦 海岸
08 月 21 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	日田市 三隈川 台霧の瀬

◎ 2016 年度

実施日	企画名等	主催	会場
07 月 23 日	マリーンスクール '16 ～きれいな川づくり推進事業～	大分県土木建築部河川課, NPO ウォーターセーフティーマネジメント協会	大分市 田ノ浦ビーチ
07 月 29 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	宇佐市 和間海浜公園
08 月 01 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	別府市 上人ヶ浜
08 月 02 日	いそあそびでおもしろ発見！	別府市北部地区公民館なでしこ分館	別府市 上人ヶ浜
08 月 09 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	日田市 三隈川 台霧の瀬
08 月 17 日	親子水生生物観察会	コープおおいた	佐伯市 霞ヶ浦 海岸

3. 教育普及活動

08月27日	親子水生生物観察会	コープおおいた	大分市 七瀬川 (七瀬川自然公園)
10月14日	真玉干潟 生きもの観察会	大分田んぼ里山ネットワーク	豊後高田市 真玉海岸
11月04日	本谷上池 生きもの調査会	大分田んぼ里山ネットワーク	宇佐市赤尾 本谷上池

3-3. 出張授業 (講演・講話)

◎ 2015 年度

講演日	演者	演題	主催	会場
04月06日	星野和夫	おさかな県おおいた	ネットヨタ大分	T-wave
10日	稲葉亜依	就職後の夢の持ち方	福岡 ECO 動物海洋専門学校	福岡 ECO 動物海洋専門学校
05月26日	太田頌悟	水族館の仕事について	福岡 ECO 動物海洋専門学校	福岡 ECO 動物海洋専門学校
26日	冠城貴紀	海生哺乳類のトレーニングと飼育管理について	東京コミュニケーションアート専門学校	東京コミュニケーションアート専門学校
28日	熊代 徹	つくみイルカ島のあれこれ	別府大学	津久見市漁村センター
07月07日	石井雄太	つくみイルカ島の海生哺乳類飼育・訓練	マリンパレス	津久見市漁村センター
07日	濱田貴史	飼育係の仕事について	大分市立丹生小学校	大分市立丹生小学校
09日	太田頌悟	水族館業務について	マリンパレス	水族館「うみたまご」
10日	太田頌悟	特別展の企画運営について	マリンパレス	水族館「うみたまご」
15日	山田重隆	生きものの身の守り方について	ルナ幼稚園	ルナ幼稚園
08月04日	太田頌悟	水族館の仕事について	福岡 ECO 動物海洋専門学校	水族館「うみたまご」
20日	岩井美菜	不思議でおもしろい♪クラゲの世界	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	少年少女科学体験スペース「O-Labo」
09月07日	冠城貴紀	海獣類のトレーニングについて	福岡 ECO 動物海洋専門学校	福岡 ECO 動物海洋専門学校
10月07日	澤田達雄	海獣類の飼育と健康管理について	佐伯市立宇目緑豊小学校 PTA	宇目地区公民館
31日	星野和夫	おさかな県おおいた	大分市立こうざき小学校 PTA	大分市立こうざき小学校
11月18日	冠城貴紀	海獣類のトレーニングについて	東京コミュニケーションアート専門学校	東京コミュニケーションアート専門学校
01月22日	山田大地	今の仕事とやりがいについて	大阪エコ・コミュニケーションアート専門学校	大阪エコ・コミュニケーションアート専門学校
03月01日	今井謙介	身近な生き物と温暖化	大分市立日岡小学校	大分市立日岡小学校
11日	冠城貴紀	水族館の仕事について	別府市立浜脇中学校	高崎山おさる館
15日	今井謙介	身近な自然のカメで考える	大分市立日岡小学校	大分市立日岡小学校
27日	岩井美菜	大分海と生きものたち「マリンサイエンス～海の科学展～」	マリンパレス	水族館「うみたまご」

◎ 2016 年度

講演日	演者	演題	主催	会場
05月24日	太田頌悟	水族館の仕事について	福岡 ECO 動物海洋専門学校	水族館「うみたまご」
06月03日	澤田達雄	海獣類とのコミュニケーションについて	米水津幼稚園	米水津地区公民館
16日	熊代 徹	私たちの水族館「うみたまご」を考えよう？	別府大学	高崎山おさる館
25日	岩井美菜	ヒトデとナマコとウニのひみつ	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	少年少女科学体験スペース「O-Labo」
30日	河内隆子	つくみイルカ島の海生哺乳類飼育・訓練	マリンパレス	津久見市漁村センター
30日	太田頌悟	水族館の仕事について	マリンパレス	水族館「うみたまご」
07月01日	太田頌悟	特別展の企画運営について	マリンパレス	水族館「うみたまご」
12日	澤田達雄	水族館の仕事について	長崎大学水産学部	長崎大学
24日	星野和夫	第9回うみ亀祭り 夏休み少年少女ビーチ環境教室	NPO 法人 福祉コミュニティ KOUZAKI, こうざき校区まちづくり協議会, こうざき校区社会福祉協議会, こうざき校区公民館	こうざき海岸
28日	鳥越善太郎 田辺国広	海と森をつなぐ学習会「海と日本 PROJECT in 大分県」	日本財団	水族館「うみたまご」
08月01日	田中 平	「南阿蘇っ子応援プロジェクト」つくみイルカ島の楽しみ方	津久見市	津久見市漁村センター
02日	太田頌悟	水族館の仕事について	福岡 ECO 動物海洋専門学校	水族館「うみたまご」
04日	田中 平	地球温暖化による海洋生物への影響	大分県立大分上野丘高等学校	水族館「うみたまご」
30日	田中 平	知って得する鯨・イルカのお話し	—	大分県産業科学技術センター

活動報告

09月10日	十萬仁志	うみたまごの動物たち	大分地区薬学研究会	国立病院機構 別府医療センター
29日	星野和夫	第29回大分県内水面漁業振興フォーラム、おさかな県おいた ～魚たちから見た大分県～	大分県内水面漁業振興フォーラム実行委員会	白杵市中央公民館
10月02日	岩井美菜	ヒトデとナマコとウニのひみつ	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	豊後大野市図書館
05日	澤 修作	専門科職業教育授業	日本文理大学附属高等学校	日本文理大学附属高等学校
15日	田中 平	水族館うみたまご -そして命-	国立病院機構 別府医療センター	国立病院機構 別府医療センター
15日	澤 修作	水族館で飼育されているイルカについて	白杵市立海辺小学校 PTA	白杵市立海辺小学校
19日	岩井美菜 濱田貴史	不思議でおもしろい♪クラゲの世界	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	由布市立石城小学校
25日	田中 平	—	白杵市立市浜小学校	白杵市立市浜小学校
11月05日	岩井美菜 鳥越善太郎	不思議でおもしろい♪クラゲの世界	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	挾間公民館「はさま未来館」
10日	水田琴美	飼育員の仕事	ジョブカフェ大分 別府サテライト	大分県立別府翔青高等学校
13日	田中 平	知って得するイルカのお話	日出町教育委員会生涯学習課	日出町立藤原小学校
24日	田中 平	—	—	ビーコンプラザ
12月26日	岩井美菜 桑野 涼	ヒトデとナマコとウニのひみつ	大分県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進班	庄内公民館
01月14日	澤田達雄	海獣類の健康管理について	大分県臨床検査技師会	アリストンホテル大分
17日	冠城貴紀	海獣類の飼育について	東京コミュニケーションアート専門学校	東京コミュニケーションアート専門学校
02月02日	星野和夫	自然史系博物館のない大分県の現状と将来	大阪市立自然史博物館	大阪市立自然史博物館
18日	田中 平	水族館うみたまごビジョン	大分市	大分西部公民館

3-4. バックヤードツアー参加者数

◎ 2015 年度

月	通常営業分	社会科見学等、臨時分
4	341	27
5	420	348
6	94	45
7	347	91
8	1101	209
9	471	209
10	156	3280
11	173	35
12	283	0
1	284	27
2	112	26
3	331	50

◎ 2016 年度

月	通常営業分	社会科見学等、臨時分
4	272	0
5	441	85
6	175	265
7	331	158
8	943	62
9	213	2041
10	200	3411
11	171	1441
12	209	150
1	256	150
2	96	58
3	362	0

3-5. 職場体験・実習生等の受け入れ

◎ 2015 年度

区分	学校数	人数	実施日数
職場体験	2	8	2
インターンシップ	大学・大学院	7	68
	専門学校	5	186
	高等学校	0	0
博物館実習	2	3	21

◎ 2016 年度

区分	学校数	人数	実施日数
職場体験	5	19	5
インターンシップ	大学・大学院	10	135
	専門学校	6	439
	高等学校	0	0
博物館実習	3	3	21

3. 教育普及活動

3-6. 新聞執筆記事

大分合同新聞：水族館千夜一夜（第338回にて完結）

掲載日	回	担当者	タイトル
2015.04.04	第312回	水田琴美	念願のショーデビュー
.22	第313回	田中 平	「あそびーち」オープン
05.13	第314回	太田頌悟	おめで“タイ”特別展示
27	第315回	冠城貴紀	イルカが足元まで接近
06.10	第316回	今井謙介	「うみさんぽ」の爬虫類
24	第317回	佐々木裕己	“海のキュウリ”ナマコ
07.08	第318回	田辺国広	“開運”黄金ダルマオコゼ
22	第319回	石井雄太	“相棒”と新しい技に挑戦
08.05	第320回	岩井美菜	名画と生き物がコラボ
19	第321回	古庄由佳	新デザインのユニホーム
09.02	第322回	岩井美菜	“名画”誕生に隠れた苦労
16	第323回	佐々木裕己	動物の体と三つの系統④
30	第324回	佐々木裕己	動物の体と三つの系統⑤
10.14	第325回	佐々木裕己	動物の体と三つの系統⑥
28	第326回	太田頌悟	水中の「ハロウィーン」
11.11	第327回	田中理子	必見「幸せの青いカニ」
25	第328回	星野和夫	憧れのむつかけ漁 挑戦
12.09	第329回	澤田達雄	アゴヒゲアザラシの花嫁
23	第330回	佐藤 梓	アザラシサンタがお迎え
2016.01.13	第331回	水田琴美	えとにちなんだ生物展示
27	第332回	藤井沙織	“主役”アザラシがウトウト
02.10	第333回	阿部隆行	大忙し 年に1度の休館日
03.02	第334回	佐々木裕己	古里の川で生物調査
16	第335回	岩井美菜	謎多い深海の世界に迫る
30	第336回	岩井美菜	深海調べる技術に触れて
04.13	第337回	田辺国広	鮮やかな婚姻色のタナゴ
27	第338回	田中 平	愛されるオンリーワンへ

大分合同新聞 GODO ジュニア：生きもノート

掲載日	回	担当者	タイトル
2016.11.12	File. 1	太田頌悟	メガネモチノウオ 実は人懐っこい「皇帝」
12.10	File. 3	田辺国広	オオサンショウウオ 魚といっても魚じゃないぞ
2017.01.14	File. 5	山田大地	モモイロペリカン 恋の季節は桃色に
02.11	File. 7	山田重隆	チンアナゴ 人気です。ゆらゆらダンス
03.11	File. 9	草津重雄	ネコザメ 怖い顔した怖がり屋

3-7. 雑誌執筆記事

大分生物談話会会報：ブラックデータブックおおい
高野裕樹・星野和夫

掲載月	掲載号	タイトル
2015.08	No.74	魚類 No.3 ナイルティラピア
08	No.74	魚類 No.4 ジルティラピア
2016.02	No.76	魚類 No.5 オオクチバス (別名：ブラックバス)
.02	No.76	魚類 No.6 ブルーギル
.12	No.78	魚類 No.7 タイリクバラタナゴ

3-8. 書籍

出版年	著者	書籍名	題名
2015	澤田達雄	水族館発！ みんなが知りたい釣りの生態ー釣りのヒントは水族館にあった！？ (pp. 126-129, 成山堂書店)	オキゴンベとワームバトル 学んだのはエサのマッチングと警戒心の解除
2015	二宮吉男	MY WAY ー私の歩んできた道ー 第五巻 (pp. 335-383, 大銀経済経営研究所)	株式会社マリンパレス 代表取締役会長 二宮吉男

3-9. 出版協力

出版年	書籍・冊子名等	担当	内容
2015	五十石川等の思い出 (38pp., 豊かな水環境創出 五十石川等流域会議)	星野和夫	解説・写真資料提供
2015	第5章 水生動物 第二次佐伯市自然環境調査報告書 (27pp., 立川淳也・宮島尚貴, 佐伯市生活環境課)	星野和夫	情報提供
2015	山溪ハンディ図鑑 15 日本の淡水魚 (528pp., 編・監修 細谷和海, 山と溪谷社)	星野和夫	情報提供
2016	宮崎県・大分県のウミガメの民俗ー利用・信仰習俗と保護をめぐる地域的差異と時代的变化ー, 民俗文化 第28号 (pp. 69-241, 藤井弘章, 近畿大学民俗学研究所)	星野和夫・今井謙介	資料提供
2016	第2次生物多様性おおい県戦略 (2016-2020), (84pp., 大分県生活環境部生活環境企画課)	星野和夫	策定委員会委員 (魚類)
2016	真玉干潟生きもの観察会, (8pp., 大分田んぼ里山ネットワーク)	田辺国広・矢代菜月, 株式会社マリンパレス	観察会指導
2017	生物多様性ここのえ戦略 つなげよう いのちとりどり 誇りの暮らし (121pp., 九重町)	星野和夫	九重町生物多様性保全対策協議会 専門部会員 (魚類)

4. 広報活動

4-1. 実施イベント

◎ 2015 年度

期間	イベント名	内容	場所
07 月 25 日	とぼせるクリエイティブ 「うみのせかい」	お客様が描いたイラストがスクリーン上を泳ぎだす！ (参加料：300 円)	うみたまご内 レクチャールーム
07 月 18 日 ～ 08 月 31 日	海賊の秘密をあばけ！ つくみイルカ島 お宝スタンプラリー	イルカ島の場内に隠された謎を解いて、海賊たちから ヒミツの宝をゲット！	つくみイルカ島
08 月 01 日 22 日	ミニアクアリウム教室	親子で小さな水槽づくりに挑戦！（参加料：2500 円）	うみたまご内 レクチャールーム
08 月 29 日 09 月 19 日 ～ 23 日	あそびーちクラフト教室	あそびーちで見つけた貝殻やサンゴを使って、オリジ ナルのフォトフレームやキャンドルを作っちゃおう！ (有料)	うみたまご内 あそびーち
2015 年秋	どうぶつ写真コンテスト	つくみイルカ島の動物を対象に写真コンテストを実施。	つくみイルカ島
2015 年秋	得とくビンゴキャンペーン	つくみイルカ島の有料イベントに参加してスタンプを 集め、ビンゴを完成すると景品をプレゼント。	つくみイルカ島
01 月 09 日 ～ 11 日	うみたまご・高崎山共同イベント	イベント広場にて動物のお散歩と足湯を実施。	高崎山駐車場 イベント広場
02 月 06 日 07 日	あそびーち雪まつり	九重森林スキー場から雪 12 t を搬入。雪の滑り台で動 物たちもお客様も一緒に雪遊び！	うみたまご内 あそびーち
03 月 19 日 20 日	「山と海の学校」1 日体験入学	新 1 年生を対象に、高崎山・うみたまごの動物たちに ついて学ぶ動物教室を開催。(有料)	高崎山 うみたまご
03 月 20 日 21 日 27 日	第 12 回 海と地球の研究所セミナー	JAMSTEC との共催で各種参加体験イベントを実施。	うみたまご内 実験ホール

◎ 2016 年度

期間	イベント名	内容	場所
04 月 02 日 03 日	津久見市民感謝デー	津久見市民を無料招待	つくみイルカ島
06 月 05 日	海の安全を守る！	海上保安庁とつくみイルカ島のコラボイベント。海保 の隊員とのコラボイルカパフォーマンスなどを実施。	つくみイルカ島
07 月 16 日	親子で海と山の自由研究教室	高崎山とうみたまごのスタッフが夏休みの自由研究の ヒントをレクチャー！（有料）	高崎山 うみたまご
07 月 21 日 ～ 08 月 31 日	アザラシのフライングゲット！	あそびーち D 水槽にてアザラシの餌やり体験を実施。 (1 バケツ 500 円)	うみたまご内 あそびーち
08 月 01 日 ～ 31 日	あそびーち動物大集合	夕方にあそびーちの動物たちが大集結！お客様とのふ れあいを実施。	うみたまご内 あそびーち
08 月 21 日	水族館「うみたまご」自由研究教室	うみたまごのスタッフが夏休みの自由研究のヒントを レクチャー！（有料）	うみたまご内 レクチャールーム
10 月 09 日 16 日	クラフト教室	ワイヤークラフト、クレイアートなど、講師を招いて クラフト教室を実施。(有料)	つくみイルカ島
10 月の土日	カワウソうっそー	コツメカワウソと間近で記念撮影！餌やりもできるふ れあいイベント。(1000 円)	うみたまご内 カワウソ獣舎
10 月 29 日	高崎山&うみたまご 「動物フォト教室」	プロカメラマンによる写真教室受講後に、高崎山とう みたまごの施設内で撮影実習を行なう。	高崎山会議室
11 月～3 月	高崎山&うみたまご 「動物写真コンテスト」	高崎山とうみたまごの動物を対象としたフォトコンテ ストを実施。	高崎山 うみたまご
12 月 23 日 24 日	うみたまごクリスマスナイト	マーメイドホールに巨大なクリスマスツリーが出現！ 動物たちが集まって、ふれあい体験が当たる抽選会を 実施。	うみたまご内 マーメイドホール
03 月 19 日	うみたまご・高崎山共同イベント	芝生広場でアルマジロがお散歩！	高崎山駐車場イ ベント広場

4. 広報活動

4-2. お泊り水族館参加者数

◎ 2015 年度

区分			家族 団体	大人	小人	幼児	計
当社 実施分	第 1 回	07 月 18 日	13	23	14	5	42
	第 2 回	25 日	10	20	11	6	47
	第 3 回	08 月 01 日	14	22	16	5	43
	第 4 回	08 日	11	17	19	3	39
	第 5 回	22 日	13	20	20	3	43
	第 6 回	29 日	14	22	17	3	42
他社企画分			8	177	99	0	276

◎ 2016 年度

区分			家族 団体	大人	小人	幼児	計
当社 実施分	第 1 回	07 月 23 日	12	32	16	3	42
	第 2 回	30 日	8	29	15	2	47
	第 3 回	08 月 06 日	13	41	19	3	43
	第 4 回	20 日	12	43	22	7	39
	第 5 回	27 日	13	38	20	3	43
他社企画分			7	177	100	0	277

4-3. 宣伝イベント

◎ 2015 年度

活動日	活動内容	会場
07.05	ペンギン出張 あそびーち PR	イオンモール 熊本
09.05	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	イオンモール 直方
10.19	交通安全教室に参加 ペンギン宣伝隊	津久見市 白梅保育園
.20	交通安全教室に参加 ペンギン宣伝隊	津久見市 向洋保育園
.24	「津久見市ふるさと振興祭」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	つくみん公園
.28	交通安全教室に参加 ペンギン宣伝隊	津久見市 明光保育園
11.01	「秋の大感謝祭」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	フローランテ 宮崎
01.16	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	五ヶ瀬ハイラン ドスキー場
.17	第 10 回シーサイドマラソン大会 協賛	うみたまご前
02.14	第 10 回シーサイドたすきリレー 協賛	うみたまご前
.21	「豊後水道河津桜まつり」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	つくみイルカ島 前
03.12	「東九州グルメフェスタ参加」 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	イオン延岡 ショッピングセ ンター

◎ 2016 年度

活動日	活動内容	会場
04.09 .10	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	イオンモール 八幡東
06.24 .25	「GO! 別府キャラバン」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	JR 博多シティ

07.12	「ゆーわくワイド」出演 うみたまご PR ペリカン出張	テレビ大分
.04	「英太郎のかたらんね」出演 うみたまご PR ペリカン出張	テレビ熊本
10.15 .16	「大分県農林水産祭」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	別府公園
10.21 .22	「津久見市ふるさと振興祭」参加 ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	つくみん公園
.23	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	フローランテ 宮崎
12.11	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	イオンモール 八幡東
.16 .17	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR	リバーウォーク 北九州
01.14	ペンギン宣伝隊 つくみイルカ島 PR 出張タッチプール・アルマジロ出張	JR 博多シティ
01.15	第 11 回シーサイドマラソン大会 協賛	うみたまご前
02.12	第 11 回シーサイドたすきリレー 協賛	うみたまご前

4-4. 報道発表

◎ 2015 年度

発表日	内容
04.09	うみたまごの新施設「あそびーち」 内覧会のお知らせ
04.15	うみたまごの新施設「あそびーち」 グランドオープンのお知らせ
04.23	特別展示 「おめで鯛にあやかりタイ」 公開のお知らせ
05.21	WAZA 問題に関する共同インタビュー開催の お知らせ
06.04	梅雨の話題提供 『青いアマガエル』みつかりました
07.03	特別展示 BEPPU PROJECT と水族館「うみたまご」 のコラボレーション企画 「うみたま美術館」 公開のお知らせ
07.18	海の日の話題提供 夏休み限定新アトラクション 「回遊ダイバーの水中なんでも相談所～ダイバーと話 そう!!～」 公開のお知らせ
10.01	特別展示 福岡 ECO 動物海洋専門学校と水族館「うみ たまご」のコラボレーション企画 「水中のハロウィーンパーティー」 公開のお知らせ
10.08	大分県初記録 「幸せの青いカニ♥」 公開のお知らせ
11.17	「アゴヒゲアザラシのお嫁入り」のお知らせ
12.22	期間限定！当館初展示！日本固有種の大型クラゲ 「ヒクラゲ」 公開のお知らせ
12.25	お正月の特別展示 「謹賀新年 2016 ～サルにちなん だ生きものたち～」 公開のお知らせ
02.17	「ハイレオアザラシの赤ちゃん誕生」のお知らせ
03.01	3 月 5 日（土）～ 4 月 17 日（日）限定企画！ 大分初！うみたまご× JAMSTEC(海洋研究開発機構) 「マリンサイエンス ～海の科学展～」 公開のお知らせ
03.15	特別展示 「うみたまタナゴ展」 公開のお知らせ
03.16	「マリンサイエンス～海の科学展～」 特別企画 大分初！うみたまご× JAMSTEC(海洋研究開発機構) 共催 第 12 回海と地球の研究所セミナー「新しい探 査技術でわかってきた深海の世界」 開催のお知らせ

活動報告

◎ 2016 年度

発表日	内容
07.08	特別展示「海ファッションショー」 公開のお知らせ
09.07	特別展示「おんせん県おおいたにすんじょんけん！」 ～大分県における温泉と生き物のかかわり～ 公開のお知らせ
10.25	大記録 野中英雄さん、来館 1000 回達成
11.22	特別展示「水中のクリスマスプレゼント」 公開のお知らせ
12.24	お正月の特別展示「謹賀新年 2017 ～トリにちなんだ 生きものたち～」 公開のお知らせ
02.17	巡回展「イチ押し！瀬戸内海の自然トピックス」 ならびに、特別展示「いいちこ！瀬戸内 ～大分県の 瀬戸内海沿岸の生きものたち～」 公開のお知らせ

4-5. 放送番組・インターネット動画

◎ 2015 年度

取材日	番組名、「タイトル」・内容	取材元
04.04	セレブと貧乏 2 人旅 【つくみイルカ島】施設紹介	大分朝日放送
.07	お昼ドキッ！「今日のドキドキ」	九州朝日放送
.08	3 きゅう 「祝！東九州自動車道 宮崎～大分 全線開通 ～ 大分の旅！」	テレビ宮崎
.17	知っ得！見聞録 【うみたまご】施設紹介	熊本朝日放送
.20	めんたいワイド 「イルカと友達に！夢の新感覚ビーチ 誕生」	福岡放送
.23	サタデーココ 「大分県で GW を遊びつくそう！」	熊本県民テレビ
05.31	大分まちなか T V 「出張放送 i n うみたまご」	大分まちなか T V
06.08	笑神様は突然に 「チーム動物好き 今回は、大分県の 高崎山自然動物公園 & うみたまご へ！」	日本テレビ
.18	おんせん県大分！別府湾で絶景温泉 & 絶品料理	広島ホームテレビ
.20	ぐっ！ジョブ	
.27	「オリジナリティーで勝負 “ふれあ い” が人気！うみたまご」	九州放送
07.03	★列車に乗って	
.07	「ア라운드九州の旅（1）」	毎日放送
.16	モーニングてらす 「つくみイルカ島徹底レポート」	宮崎放送
.18	ぱりすごタイムス夏休み S P 「テーマパークで夏休みを思いっ きり満喫しよう♪」	九州放送
.21	府内一心 ～新生大分、いまここに～	大分ケーブルテ レコム
.24	ディスカバ LinQ 福岡発アイドルグループ LinQ が【う みたまご】に来館	毎日放送
01.01	アタック大分 2016 ～笑顔 D E ウッ キウキ～	大分放送
03.05	ぱりすごタイムス春休み S P 「九州各地のテーマパークで、春を 思いっきり満喫しよう♪」	九州放送

.16	日本を紹介する旅番組 【うみたまご】施設紹介	チェコ共和国国 営テレビ
-----	---------------------------	-----------------

◎ 2016 年度

取材日	番組名、「タイトル」・内容	取材元
04.12	3 きゅう 「LIFE わくわく大分の旅 後編」	テレビ宮崎
04.16	ドキュメント 1day ～おおいたのオ シメンたち～	大分ケーブルテ レコム
06.03	「# 04 うみたまご飼育員 水田琴美」	
05.11	Oita Promotion Video 2016	別府市観光課
05.19	窓を開けて九州	大分放送
07.16	「雄太とアケミのスカイロケット」	
05.31	ゆーわくワイド 「大分県 18 市町村 笑顔の目次。ツ アー」	テレビ大分
06.19	おとななテレビ 「がんばろう九州！生放送 2 時間半 スペシャル」	九州放送
07.07		
06.20	広報 T V オオイトココレクション 「イルカと泳ごう！つくみイルカ島」	大分放送
06.23	クチコミ新発見！旅ぶら 「誰もが大喜び！〇〇〇のない水族 館とは？」	読売テレビ
07.08	らぶちゅちゅ 「スペシャル大分遊び」	愛媛朝日テレビ
.08	cross i 「祝 東九州自動車道開通 大分・宮崎 ドライブの旅」	クロス F M
.13	ひるじげどん 「夏の大大満喫旅」	長崎国際テレビ
.20	かばすタイム 「勇壮華麗な扇子踊り！津久見市を 散策」	大分放送
.22	【つくみイルカ島】施設紹介	東森電視台 (台湾)
.23	【うみたまご】施設紹介	メディアマン プー (中国)
08.14		大分朝日放送
09.26	「# 3 東九州絶景の旅」	Thairath TV (タ イ)
10.04	「# 3 東九州癒しの旅」	民間全民電子公 司 (台湾)
08.22	発見！九州スピリット 「ピンチをチャンスに！アイデア市 長のメッセージ」	九州朝日放送
09.09	夢多のディスカバー東九州 【つくみイルカ島】施設紹介	東森電視台 (台湾)
09.12	もち浜ストア クチコミ情報局 「家族で満喫！別府の旅・地獄蒸し & うみたまご・超癒し空間！新ホテ ル」	テレビ西日本
.15	MAJIDE JAPAN X 「EP.56 KYUSHU(PART 4)」	JapanX TV (タイ)
.19	鉄道絶景の旅 「秋に行きたい 山海の恵みとかく れ宿めぐり 魅力再発見！九州一周 の旅 後編」	B S 朝日
.22	つだつよしのダッシュくん 「イルカのトレーナーになりたい！」	テレビ大分

4. 広報活動

.29	東九州自動車道 乗り放題！カーフェリーで行く お得な 大分・別府、宮崎めぐり	あいテレビ
.30	OAB 大感謝祭 もっと JIMOTTO! 大分元気チャージ宣言！ 「大分元気チャージ動画『うみたまご』」	大分朝日放送
10.24	資生堂 H P 動画 「全国調査 キレイな人には『つや玉』がある!? 篇」	株式会社シナプス
11.25	Panorama Discovery 【つくみイルカ島】施設紹介	Royal Thai Army Radio and Television Channel 5 (タイ)
.28	れじゃぐる 「津久見市特集」	大分朝日放送
01.14	スッキリ！！ 「追跡！大人気ペリカンショーの秘密」 「大分県！『うみたまご』人気ショーの秘密」	日本テレビ
.18	大分市観光 P R 映像 【「SARU TABI (さるたび)」～ Run Monkey, Run! ～」	大分市 商工労働観光部 観光課
02.26	おはようコール 「That's New『大分・別府！超お得わがまま温泉ツアー！』」	朝日放送
03.06 .07	ぱりすごタイムス春休み S P 「いろんな海の動物たちとふれあおう♪」	九州放送
.20	かぼすタイム しらべ得 「人気水族館 “うみたまご” 飼育員の 1 日に密着」	大分放送
.21	金曜テレビアン 「楽しさ満開！大分 春の最強スポット」	福岡放送
.24	めんたいワイド 「新パフォーマンスも！芸達者な水辺の人気者 ～うみたまご～」	福岡放送
.31	金様の鍵 「うみたまご全力中継」	大分朝日放送

4-6. 新聞・雑誌・ウェブページ掲載

◎ 2015 年度

取材日	雑誌名、「掲載タイトル」・内容	取材元
04.02	シティ情報おおい 5 月号 「動物とのふれあいができる施設」 【つくみイルカ島】施設紹介	おおいインフォメーションハウス株式会社
.16	日本石灰協会 機関紙 【つくみイルカ島】フレスコ画紹介	日本石灰協会
05.14	九州夏ウォーカー 【うみたまご】あそびーち紹介	福岡ウォーカー
.19	西 Navi 7 月号 【つくみイルカ島】施設紹介	京阪神エルマガジン社
.25	じゃらん九州 「別府特集」	リクルート
06.04	オズマガジン 「アートの街を旅する、大分・別府」	スターツ出版
.18	西 Navi 8 月号 【うみたまご】施設紹介	京阪神エルマガジン社
.24	まっぷるマガジン 【うみたまご】施設紹介	オフィステイク 2

.30	フリーペーパー Cue 【うみたまご】施設紹介	中国新聞社
07.12 .14	Be Sm'LL 「みんなの知らない世界ー裏も表も本物もー」	アイルモーターズスクール
08.04	大人の感じ、おおいの旅 「夢を叶える！イルカと泳ごう」	ツーリズムおおい
.24	Weekend Weekly 【うみたまご】【つくみイルカ島】施設紹介	香港旅行雑誌
09.22 .28	近代建築 2015 年 10 号 「特集 文化・交流施設の計画と設計」	近代建築社
10.21	1194 三菱電機ビルテクノサービス 広報誌 【うみたまご】の事例紹介	オフィスタラーク
02.14	船のたび FREE さんふらわあ大分 【うみたまご】施設紹介	ブラックフィッシュ
.18	VIEWING 写真ギャラリー 「大分きれいな 100 選事業」	クープス
.22	会報誌 トモパル 「目指すのは『オンリーワン』 動物とのふれあいに特化した水族館」	大分県信用組合
03.21	トラ技 Jr. 「水族館で初の試み！深海の生物と探査ロボットを一堂に展示『マリンサイエンス ～海の科学展～』 潜入レポート」	CQ 出版社
.31	リセット 「畑たいむのおおいさんぽ」	株式会社リセット

◎ 2016 年度

取材日	雑誌名、「掲載タイトル」・内容	取材元
04.08	虹のたより 5 月号 【うみたまご】施設紹介	コープおおい
.28	いいやん！大分 「おおい元気だより～うみたまご～」	大分市役所
05.30	遊・悠・West 【うみたまご】施設紹介	京阪神エルマガジン社
.31	市報おおい 7/1 号 「カメラとお散歩」	大分市 企画部 広聴広報課
.31	九州じゃらん 9 月号 「夏レジャー大集合！」	リクルート
06.02	シティ情報おおい 8 月号 「なんでも探偵団」	おおいインフォメーションハウス株式会社
.15	てくてく 「夏のレジャースポット」	いずみ印刷
07.05	J A F メイト 10 月号 【うみたまご】施設紹介	J A F 大分支部
.10	ティーウェイ航空 機内誌 【うみたまご】施設紹介	ティーウェイ航空
.26	心に響く旅 九州 【うみたまご】施設紹介	楽天・九州観光推進機構
.26	田舎暮らしの本 「日本一のおんせん県 大分で暮らそう！」	宝島社
08.23	小学二年生 11 月号 「ズーズーちゃんねる」	小学館
08.30 12.29	シティ情報大分 2 月号 「ドラナビ 津久見市」	おおいインフォメーションハウス株式会社
09.02	日本政府観光局 H P 日本各地の観光紹介	ヌーベルメディア
11.10	全国タウン誌別府大会 別府市内と県内観光地の魅力を取材	台湾・日本発行 8 社
.24	World Surprise travel 【うみたまご】施設紹介	World Surprise (タイ)

活動報告

01.11	ソラシドエア機内誌 ソラタネ 「癒しの動物たち」	ソラシドエア
.22	JAPANKURU 【うみたまご】施設紹介	グローバルデ リー
02.05	るるぶ こどもとあそぼ！ 「注目の NEW オープン『あそびー ち』」	エフイー
.31	九州じゃらん 4 月号 【うみたまご】施設紹介	リクルート
03.15	てくてく 【つくみイルカ島】GW 特集	いずみ印刷

4-7. 広報誌



第 26 号

2015.07.01 発行

特集：ガラスのない水族館できました。

写真：あそびーち



第 27 号

2015.11.01 発行

特集：緑の下の力持ち！
水族館「うみたまご」を支える機械設備

写真：うみたまごの機械設備



第 28 号

2016.03.01 発行

特集：マリンサイエンス ～海の科学展～

写真：マリンサイエンス ～海の科学展～



第 29 号

2016.07.01 発行

特集：この夏、うみたまごで自由研究！！

写真：ノコギリザメ



第 30 号 最終号

2016.12.01 発行

特集：動物たちの健康管理

写真：これまでの広報誌の表紙

4-8. 広報に関わる表彰歴

なし

楽しさ発見！



阿保 諒
(あば まこと)

出身：北海道

所属：飼育部 獣類グループ

「あそびーち」のメインとなるイルカプールにはお客様が自由に入れる砂浜があり、気分次第で近寄って来るイルカをすぐ目の前で見るすることができます。今でこそイルカたちは砂浜に近づけるようになりましたが、最初から近寄って来ていたわけではなく、餌の時間以外は全く近づきませんでした。

今の展示は遊びから生まれた信頼関係で成り立っています。遊びのきっかけはプールの掃除のときでした。イルカたちはブラシが気になり近寄って来ます。驚かさないう、何事もないかのように掃除を続けていくうちに身体をすり寄せるようになりました。優しく触れると何度も同じように体をすり寄せて、人が危険ではないと理解し触られるのが楽しくなったようでした。砂浜に人がいると次第に近づくようになり、長い時間をかけ近寄って来るようになりました。

しかし動物たちに嫌な思いをさせると近づかなくなります。また、ずっと同じように遊んでいると動物も飽きます。飽きるまで遊ぶのではなく、「もう少し遊びたかったな」という余韻を残して遊び終わります。すると、今度

人が入ってくると「待ってました！」と言わんばかりに近寄って来ます。遊び方も動物の気持ちを察しながら、その時々で変えてやります。遊びの中で見せるさまざまな行動から、何を望んでいるのか、遊び方によってはどんな行動をするのかなど、予測しながら遊ぶことで人間にとって不都合なこと、例えば、人の足を口先でつついたり、噛む行動も防ぐことができます。

動物たちは、好奇心と共に身を守るための警戒心や防衛本能を持っています。その動物の持つ特性と、一頭一頭の個性を知ることが何よりも大切で、それは関心を持って接することで初めて気づきます。そこから分かることが「動物の魅力」であると感じます。それをより多くのお客様に伝えることで、たくさんのことを教えてくれる動物たちへの恩返しとしたいです。そう思いながら、今日もあそびーちから、動物たちの魅力を発信しています。



甲斐 晶子
(かい あきこ)

出身：福岡県

所属：飼育部 獣類グループ

動物たちと接していてすごい、おもしろいと思うことがたくさんあります。その中でも特に思うのが、私が担当しているバイカルアザラシの「アル」とモモイロペリカンの「スズメ」の遊びの行動です。

スズメは屋外の鳥舎で一羽での飼育をしているため人をよく見えています。オスなのに男性が好きという少し変わり者のスズメです。担当になった最初の頃は威嚇され、なかなか距離が縮まりませんでした。しかし、毎日の給餌やその日の最後の見回り時に会いに行くことで今は距離も縮まりました。ホースやボールを使って遊ぶことができます。私が投げたボールを嘴を使って器用に返してくれます。それだけでも意思疎通ができていよう嬉しくなります。思わず笑ってしまうのは夕方、館内の鳥舎に帰したとき、壁から扉の方へスライディングしているところ。一生懸命しているように見えて飛ぶことが好きだと教えてくれているようでした。給餌の時には自分の肩に乗せ、スズメの好きなことも組み込んでいます。

アルは普段、水槽の中にあるおもちゃ用の輪っかで

遊びません。ただ水槽内をぐるぐる泳いでいるだけかと思っていたら、アル自身が回転して水中に渦を作って遊んでいました。しばらく月日が経ってアルを見た時、今度は別の遊びをしていました。泡を作り、その泡が上に上がっていく様子を水面上から見るといいます。その行動を見た時は珍しいと思いしばらく眺めていました。夢中で遊んでいる姿をみると可愛らしく思えます。毎回見に行った時に必ず遊んでいるというわけではないので、これからも観察を続けて給餌以外の時間をどう過ごしているのか見てみようと思います。

動物たちの行動にはいつも驚かされてばかりです。次から次へと物を使わずに遊ぶ方法を思いついてとても賢いです。私と違い頭が柔らかく見習わなければと思う日々です。これからも動物たちや命のことを少しでも多くの人に伝えられるように、頭を柔らかくして頑張っていきます。

楽しさ発見！



川廣 成美
(かわひろ なるみ)

出身：愛知県

所属：津久見事業場 飼育部門

つくみイルカ島に勤めて2年が経ちました。この仕事は動物たちと過ごす時間が多く、他では経験できないことをたくさん経験させてもらっています。そして毎日、新鮮な刺激を受けることばかりです。その中でもイルカの出産・育児についてお話ししたいと思います。

2017年5月14日午前2時42分、バンドウイルカのサキが出産をしました。光栄にも私はその瞬間に立ち会うことができました。尾鰭が出てから約1時間後、赤ちゃんは産まれてきました。その瞬間を見た時、自分で想像していた以上の感動がありました。命の誕生がこんなにもすごいものだとは思ってもみませんでした。産まれたばかりの小さな体で一生懸命泳ぎ、サキはそれに寄り添って一緒に泳いでいました。そしてサキは赤ちゃんがぶつからないように泳ぐ方向をコントロールして、出産直後なのに本当に一生懸命面倒を見ていました。

その後も経過は順調で授乳も確認でき、すくすくと育っています。今ではたくさん母乳をもらってまん丸でとても可愛らしいです。続けて観察を行っていますが、さまざまな面白い行動を見ることができます。例えば、

サキは給餌の時間になっても赤ちゃんばかり気にしており、接餌しては急いで赤ちゃんのもとに戻ってと、とても慌ただしくしています。その姿を見て、私はお母さんって大変なのだかと率直に思いました。私が赤ちゃんのときも母はご飯をゆっくり食べる時間もなかったのかなとふと考えてしまいました。今では、生簀の網にぶつからないか心配になるくらい、赤ちゃんは元気に泳ぎ回っています。他にも、乳母役イルカと一緒に泳いで追いかけて遊んだり、いろんなことを経験して大きくなっているようです。出産からまだ1ヶ月しか経っていませんが、もっと大きくなった姿が今から楽しみです。

今回、イルカの出産・育児に立会い、私は母親の偉大さ、そして育児の大変さを痛感させられました。この経験だけをとってみても、動物たちから学ぶことが多いこの職に就けたことをとても誇りに思います。たくさんの方に動物たちのさまざまなことを知ってもらうきっかけになれるように、私はこれからも精進していきます。



佐藤 まゆ子
(さとう まゆこ)

出身：大分県

所属：総務部 経理グループ

水族館の事務所のスタッフがどんな業務をしているかご存知でしょうか。私自身も今まで水族館「うみたまご」では接客部門を担当していたので、いざ自分が経理に配属されることが決まったとき、全くイメージがつかみませんでした。

事務所スタッフは普段、それぞれの所属部署の業務をしています。しかし、お問い合わせの電話応対や新規入館予約の受付、団体で来られるお客様の下見のご案内などの日常業務はスタッフ皆で協力しながら行っています。しかし、それだけでは終わりません！最近ではスタッフが共有するシステムの入替えや、あそびーちカフェ用オリジナルグッズの開発など、経理業務以外のことがたくさんです！電話の対応ひとつでも、「この方は何を求めているのだろう」、「何を伝えたらこの方は喜んでくれるだろう」と考えます。とくに電話ではお客様の表情が伺えないので、「ちゃんと伝わっているか」などお客様の声で判断することも必要です。そうやってお客様の求めている答えに近づけていくことは、とても面白くもあります。さらにお客様から「ありがとう」と言われる

とやりがいもあります。その他の業務においても、常に「どうしたら満足してもらえるか」を考え、試行錯誤しながら業務をこなすことで、面白みが増え、楽しくなります。

しかし、「面白い」と感じながら行っている業務でも苦勞することはたくさんあります。また、新たに始める業務に携わることも普段の業務とは違い、慣れない作業のため苦勞することがたくさんあります。

このような経験から事務作業というのは従業員のサポートだけではなく、お客様の満足に繋げるための重要な役目であることに気づくことができました。直接的な接客ではないですが、自分たちの行う業務の工夫次第でお客様の満足に繋がるかどうかが変わってきます。これからも、お客様の満足に繋げるために面白みを持って業務に当たって行きます。館内で作業している人を見かけたら「何をしているのかな」と疑問に思ってみてくださいね！



富永 千栄子
(とみなが ちえこ)

出身：大分県

所属：営業部 営業グループ ガイド

うみたまごの密かな人気者をみなさんはご存知でしょうか。入口の自動ドアを通るとまず一番に目に入る、アザラシ人形です。私たちスタッフは「アザ男」という愛称で呼んでいて、名前の通りゴマフアザラシの男の子です。人形とは言え私よりも背は高く、うみたまごオープン当初は着ぐるみとしてCMにも出演していたと聞きました。

リアルな作りに表情は真顔、さらに仁王立ちしているので小さなお子様は不気味さからか泣いてしまうこともあり、真正面にいるので「水族館に入りたくない!」と言われることも…。そんなアザ男くんですが記念に写真を撮られるお客様も大勢いらっしゃり、日付の書かれた看板も下げているので日曜日や連休には入口の通路が塞がってしまうほどの人気ぶりです。

私たちガイドの仕事はお客様がより快適に水族館で過ごすためのお手伝いですが、アザ男くんの着せ替えも担当しています。実はこのアザ男くん、季節によって衣装が変わるんです。春は桜の装飾や園服、夏はアロハシャツにサングラス、秋はハロウィーンや運動会、そして冬

にはサンタ服やお正月の装飾もしているんです。意外と衣装持ちなんですよ!

さらに少しでもお洒落に見せようと、帽子の角度ひとつ取っても、「ああでもない、こうでもない…」とガイドの中で未だに試行錯誤しています。

もうひとつ、アザ男くんが下げている看板にもこだわっています。看板自体のデザインはもちろん、一部がホワイトボードになっているのでアザ男くんのつぶやきも描けるのです。つぶやきと言っても季節に合った一言やうみたまご内のニュースなどを書くのですが、それと一緒に描くイラストがなかなか決まらず悩み所なのです。どの生き物が何をしている絵にしようかな〜と、悩みに悩んだ末に描いた絵をお客様が、かわいい!と絶賛して下さったときは達成感があります。

不気味(?)かわいいアザ男くんの衣装と看板をみなさんのうみたまごの新たな楽しみにしてみたいかがでしよう。



堀 浩也
(ほり ひろや)

出身：大分県

所属：営業部 営業グループ

マリーンパレスに入社して三年目、うみたまごでの勤務は今年で二年目を迎えることとなります。営業という職業柄、社内外にてさまざまな方々と面と向かって話をする機会に恵まれ、毎日が新鮮でおもしろいと感じております。

入社して一番やりがいを感じたのは、2016年の夏に開催したお泊り水族館で配布した『うみたまご学習ノート』を作成した時のことです。このノートでは普段何気なく目にしている動物たちの意外と知らない特徴を紹介し、実際に館内を歩き回って正解を導き出すクイズやうみたまごの生き物だけで作ったクロスワードを盛り込んで、もっとうみたまごを楽しんでもらおうと試行錯誤して完成させました。初めてこのノートを配布したときはすぐに飽きられてしまうんじゃないかと思って冷や汗をかいたのを覚えています。お泊り一日目の終盤、就寝準備後の自由時間でそんな不安は吹き飛んでしまいました。子供たちがノート片手に館内を行ったり来たりしつつ、解説パネルや水槽をジッと覗き込んでいる姿がありました。心の中でガッツポーズしつつ、子供たちから質

問攻めを受け、あっちに行ったりこっちに引っ張られたりと大忙しでした。計5回実施したお泊り水族館ですが、各回とも子供たちが楽しそうに遊んでいたのが作ってよかったなとホッとしました。このノートはうみたまごオリジナルグッズとしてショップで販売するのが最終目標なのですが、長期間の販売となるとまだまだ問題があります。ノートの作成に当たり今回最も力を入れたクロスワードなのですが、うみたまごの生き物に限定して作成したため展示替えなどで、答えとなる生き物がお客様の目の届かないところに下げられると販売することができなくなってしまいます。今後の課題は長期間の販売が可能で、お客様からおもしろいと感じてもらえるクロスワードに代わるお楽しみ要素を開発することです。完成した暁にはお手にとってうみたまごを120%楽しんでいただければ幸いです。

楽しさ発見！



矢代 菜月（やしろ なつき）

学芸員

出身：愛知県

所属：飼育部 魚類グループ

うみたまごに勤めて三年目になりますが、水族館の飼育員をやっているとよかったと思うシーンが本当にたくさんあります。飼育員の仕事をしていると生き物から多くの発見をもらいます。生き物たちは、「生きる」ということを、毎日全力で私に教えてくれます。

私はいつも生き物に寄り添って試行錯誤を重ねています。なかなか餌を食べてくれないサメにどうやって餌を与えるか。何の変哲もないイカやタコの魅力をいかにして伝えるか。工夫に工夫を凝らした末、サメがやっと餌を食べてくれたとき、イカやタコがユーモラスな動きを見せてくれたとき、とんでもなく幸せな気持ちになります。さらに、このような生き物たちの生き生きとした姿を見たお客様から笑顔の反応をいただけたとき、もっともっと挑戦しよう思います。そして、そのように思えるこの仕事の面白さを実感しています。

また、最近は出張に行く機会も多く大分県の色々な所へ行かせていただいています。そして、大分県豊かな環境に感動してばかりです。観察会では各地の磯や川に出向いて参加者の皆様と一緒に生き物を採集しまし

た。足元に種類豊富な小さなうごめく生き物たちを、また「生きた化石」とよばれるカブトガニを見つけたときなど、大分に棲んでいる生き物の多様さや希少さに感動しました。もじゃこ漁では数多くの魚の稚魚に出合えました。サメの採集では実際に漁船に乗り、混獲されたサメをいただきました。間近でみた大分の自然はとても豊かです。こんなに自然に溢れ恵まれた環境に、多種多様な生き物たちがいることをもっともっと多くの人に知ってほしいと思いました。大分県の海には思わずにやけてしまうほどのおもしろいが詰まっています。その自然や生き物たちをより身近に感じてもらうためには、やはり実際に見てもらうことが一番の方法だと思います。そして、それを伝えられる場所である大分県的水族館で飼育員をしていることは、私にとって最高におもしろいことです！



**山田 研祐
（やまだ けんすけ）**

獣医師

出身：大阪府

所属：飼育部

水族館の獣医師として私はうみたまごの動物の健康管理に携わっています。健康管理の方法の一つとして採血があります。私たちも健康診断で血液を採りますよね。血液からは健康管理や病気の治療に有用なさまざまな情報を得ることができます。私たち人間は多くの場合、腕の関節の血管から血液を採ると思います。では水族館の動物たちが体のどこから血液を採っているか、皆さんご存知ですか？うみたまごの海獣たちを例に取って紹介していきたいと思います。

まずイルカでは、尾鰭表面の中央に走る血管に針を刺します。目視でも血管の走行が確認できる場合もあればそうでない場合もあります。そのようなときは直接触ってみて、他の部位とは少し感触の違う血管の走る部位を確認して針を刺します。

セイウチでは、後肢の水かきにある血管に針を刺します。気温の低い時期では血管が収縮してしまっていて血管を探すのが難しいので、お湯をかけて血管を拡張させることで採血しやすくします。水かき以外でも、後肢の指の間の血管から採る場合もあります。

同じ鰭脚類でもアザラシでは、後肢の内側に末端から帰ってくる血管が集まってできる太い血管があるのでこれを狙って針を刺します。血管の走行が目視できないので、個人的にはイルカやセイウチよりも難しいと思っています。

このようにして獣医師は動物たちに血液を提供してもらうことで健康管理を行っています。採血を行うに当たり、なるべく動物に負担をかけないように、そしてトレーナーさんが築き上げてくれた動物と人との信頼関係を崩さないように心掛けることが重要であり、そのためにも自らの知識・技量をレベルアップさせていく必要があると日々感じています。今後は技術的に確立できていないオットセイやトドでも採血が行えるよう取り組んでいき、動物たちのより良い健康管理ができるよう頑張っていきたいと思います。

おわりに

2015年10月31日、株式会社マリーンパレス50周年記念誌「海に魅せられた50年」が発行されました。この記念誌は旧水族館「マリーンパレス」の40年間と新水族館「うみたまご」の10年間を合わせた50年間の歩みをまとめたものでした。そして月日が経つのは早いもので、あれから2年が過ぎ去りました。

今回発行された年報は、50周年記念誌が発行された後の2年間の歩みを50周年記念誌同様にまとめたものです。しかしながら、株式会社マリーンパレスの年報としては記念すべき第1号となりますので、単に事務的に記録をとどめるだけでなく、新たな試みも盛り込みました。それが、「今年、入社しました」、「この一年を振り返って」、「楽しさ発見!」の3つのコーナーです。これらはマリーンパレス50周年の年と、その後の2年間に入社した新人たちの寄稿で成り立っています。自己紹介に始まり新たな決意表明まで、新人たちのエネルギーでバイタリティーにあふれた文章ばかりです。これを読むと「元気」をもらえること間違いなしです。

今回は初めてということもあり取りまとめに時間がかかりましたが、この年報が今後の新たな取り組みに向けての一助になれば幸いです。

最後に、ご協力いただいた皆様にお礼を申し上げますとともにあとがきに代えさせていただきます。ありがとうございました。

年次報告編纂委員長

星野和夫

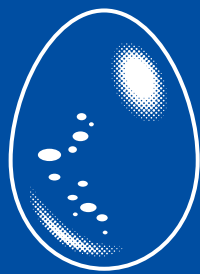
**大分マリーンパレス水族館「うみたまご」
2015, 2016 年度 年次報告**

平成 29 年 8 月 1 日発行

編纂／星野 和夫
佐々木裕己

発行／株式会社マリーンパレス
〒 870-0802 大分市神崎字ウト 3078 番地 22
TEL 097-534-1010 FAX 097-534-1013

©本誌掲載の記事、写真等の無断複写・複製転載を禁じます。



うみたまご

大分マリンパレス水族館